

VA/V E 文献リスト (その1B)

A. 価値分析・価値工学 (VA/V E) /DTC/テアダウン

[注1] 価値分析=VA: Value Analysis/価値工学=VE: Value Engineering]

日本バリュー・エンジニアリング協会は、『VA/V E』を次のように定義している。

『VA/V Eとは、最低のライフサイクルコスト (C) で、必要な機能 (F) を確実に達成するために、製品・サービスの機能的研究に注ぐ組織的努力 (TFP) である』。※価値 Value=機能F/コストC

[注2] DTC: Design To Cost=デザイン・ツー・コスト (コスト・デザイン)

[注3] テアダウン/ティアダウン: Tear Down=競合他社製品を分解して調査することで、欧米では「リバース・エンジニアリング: Reverse Engineering」と呼ぶ。

I. 1990 (平成2) 年以前

- 001 「オペレーション・バリュー・アナリシス」A.O. Smith 社編, 日本資材管理者協会訳, 日本資材管理者協会, 1960. 7 [日本資材管理者協会⇒日本資材管理協会]
- 002 「バリュー・アナリシス (最適購買の方法と事例)」亀岡志郎・服部明共著, 日本能率協会, 1961. 9 [日本能率協会⇒日本能率協会マネジメントセンタ]
- 003 「バリュー・エンジニアリング (コストダウンの組織的方法)」米国E. I. A編, 玉井正寿訳, ダイヤモンド社, 1961. 12 (原著) Value Engineering 1959 by E. I. A. Conference on VE, Engineering Publishers, 1959
- 004 「価値分析の進め方 (生産コスト引下げのために)」ローレンス D. マイルズ著, 産業能率短期大学・価値分析研究会訳, 日刊工業新聞社, 1962. 8 (原著) Techniques of Value Analysis & Engineering (1st Edition), Lawrence D. Miles, McGraw-Hill Book Co. Inc., 1961
- 005 資材管理シリーズNO.3「価値分析実例集」日本資材管理者協会, 1962. 11
- 006 「価値工学入門 (コスト引下げの新技法)」南川利雄著, 同文館出版, 1963. 4
- 007 マネジメント新書31「バリュー・アナリシス入門」瀬口龍一著, 日本能率協会, 1963. 9 (参考) 改装版1971. 2あり
- 008 「価値分析計画の展開」光田基成著, 日刊工業新聞社, 1964. 5
- 009 「価値分析ハンドブック」アメリカ国防省 (DOD) 編, 玉井正寿監修, 産業能率短期大学・VA研究会訳, 産業能率短期大学出版部, 1964. 10 (原著) DOD. Hand Book H-111, MAR. 1963 (参考) 新版1973. 8あり
- 010 資材管理シリーズNO.7「VA技術の新らしい展開」西村章著, 日本資材管理者協会, 1964. 12 (参考) 資材管理, 第12巻 第10号, P44-70, 1969. 10
- 011 「価値分析教科書 (コストダウンのバイブル)」玉井正寿著, 産業能率短期大学出版部, 1965. 7
- 012 ブルーボックス B-65「コストダウンの科学 (VA価値分析入門)」今坂朔久・服部明共著, 講談社, 1966. 3
- 013 「価値分析実例集 (21社のVE活動の現状と問題点)」玉井正寿監修, 日本VE協会編, 産業能率短期大学出版部, 1967. 5
- 014 「価値分析ワークブック」米国レイセオン社編, 玉井正寿監修, 荻原洋太郎・藤田恒夫共訳, 産業能率短期大学出版部, 1967. 10
- 015 「機能分析 (エンジニアに送る価値とコストの独創的問題解決法)」玉井正寿著, 産業能率短期大学出版部, 1967. 11 (注) 第4章 7. 機能構成のモデル-機能系統図, P112-114/10. 機能系統図, P130-140
- 016 「改装版 バリュー・アナリシス入門」瀬口龍一著, 日本能率協会, 1971. 2
- 017 「製品のVDマニュアル (1/2) (2/2)」佐藤良監修, 武知孝夫・村田晃一・金田巖・吉本雄一共著, 日本経営合理化センタ, 1971. 2 [VD: Value Design=バリュー・デザイン] [日本経営合理化センタ⇒ジェムコ日本経営]
- 018 「バリューアナリシスによる事務省力化の進め方」W. J. リッジ著, 玉井正寿監修, 森田邦彦・森岡一

- 成・中神芳夫共訳，産業能率短期大学出版部，1971. 8（原著）Value Analysis for Better Management, W.J. Ridge, American Management Association, 1969（参考）この改題版「業務・管理のVE」1978. 4あり
- 019 「VE（価値分析）」通商産業省企業局編，全日本能率連盟，1972. 5
- 020 「機能設計法」佐藤良著，日本経営合理化センタ，1972. 12
- 021 「VE指導用マニュアル」佐藤良・金田巖共著，日本経営合理化センタ，1972. 12
- 022 「T.T-S T O R M法」武知孝夫著，日本経営合理化センタ，1973. 2 [バリューエンジニアリング（日本VE協会会報），NO. 25, 1971. 6] [T T - S T O R M : Takechi Takao's - Systematic Thinking of Objective Realizing Method]
- 023 儲けるための経営シリーズ1「残れる会社（コスト意識への変革）」佐藤良著，日本経営合理化センタ，1973. 4
- 024 儲けるための経営シリーズ2「原点に立つ（目的意識への改革）」佐藤良著，日本経営合理化センタ，1973. 8
- 025 「新版 価値分析ハンドブック」アメリカ国防総省（DOD）編，玉井正寿訳，産業能率短期大学出版部，1973. 8（原著）DOD. Hand Book 5010.8-H, SEP. 1968
- 026 「管理・事務のバリューデザイン」佐藤良・村田晃一共著，日本経営合理化センタ，1974. 4
- 027 「VEアプローチ（実例による分析の手順）」A.E. マッジ著，玉井正寿監修，中神芳夫・山路陽三・鈴木長生共訳，産業能率短期大学出版部，1974. 11（原著）Value Engineering, A Systematic Approach, Arthur E. Mudge, McGraw-Hill Book Co., 1971
- 028 「建設コストダウンへの手法（バリュー・エンジニアリング導入のすすめ）」馬場勇著，彰国社，1975. 2（参考）続編1979. 1あり
- 029 「製品改善とコストダウンのための Value Engineering（実践と教育のためのVE T E X T）」バリューデザイン専門部執筆，日本経営合理化センタ，1977. 1
- 030 「VA・VEによるコストダウン入門」水戸誠一著，中央経済社，1977. 7
- 031 「現場のVEテキスト」石原勝吉著，日科技連出版社，1977. 7（参考）新編1991. 6あり
- 032 「業務・管理のVE」W.J. リッジ著，玉井正寿監修，森田邦彦・森岡一成・中神芳夫共訳，産業能率短期大学出版部，1978. 4（原著）Value Analysis for Better Management, W.J. Ridge, American Management Association, 1969（参考）「バリューアナリシスによる事務省力化の進め方」1971. 8の改題版
- 033 「VEマニュアル」二見良治著，総合技研，1978. 5
- 034W 「SAVEプログラムによる 実践・省エネルギーの進め方（その計画と手順）」武知孝夫著，日本熱エネルギー技術協会，1978. 8 [SAVE : Systematic Approach for Valuable Energy]
- 035 現代経営工学全書8「価値分析」玉井正寿編，森北出版，1978. 11
- 036 「続 建設コストダウンへの手法（バリュー・エンジニアリング実践のすすめ）」馬場勇著，彰国社，1979. 1
- 037 「17ステップによる 経営革新の技法（問題解決と機会開発のためのVIプログラム）」浜脇英一著，ダイヤモンド社，1979. 6 [VI : Value Innovation]
- 038 「VE（コストダウンをはかる改善技術）」土屋裕著，日本HR協会編，近代経営社，1980. 11（参考）この改題版「はじめてのVE」日本VE協会2010. 6あり
- 039 「VEと標準化（その考え方と実施例）」玉井正寿編，VEと標準化編集委員会著，日本規格協会，1981. 3 [標準化と品質管理，1979. 7-1980. 6連載]
- 040 経営生産実務シリーズ3「VEの技法」二見良治著，日刊工業新聞社，1981. 6
- 041 「VA/VEシステムと技法」ローレンス D. マイルズ著，玉井正寿監訳，田中武彦・中神芳夫共訳，日刊工業新聞社，1981. 10（原著）Techniques of Value Analysis & Engineering (2nd Edition), Lawrence D. Miles, McGraw-Hill Book Co., 1972
- 042 新現場QC読本13「VE活動の進め方」石原勝吉著，日科技連出版社，1984. 5
- 043 「VE活動の実践ステップ」高原真編，秋山兼夫著，経営実務出版，1984. 6
- 044 「デザイン・ツー・コストの新しい考え方とその手順」江崎通彦著，産業能率短期大学出版部，1984. 12
- 045 おはなし科学・技術シリーズ「おはなしVE」土屋裕・森岡一成・中神芳夫共著，日本規格協会，19

85. 3

- 046 「図解 建設コストダウン実例集－1（VE手法による改善例125）」馬場勇編著，彰国社，1985. 4 [施工 別冊，1984. 6]
- 047 「図解 建設コストダウン実例集－2（VEによる設計・施工の改善例）」馬場勇編著，彰国社，1985. 11 [施工 4月号臨時増刊，NO. 233]
- 048 「VE活動実践マニュアル（第1回‘83マイルズ賞受賞企業のVE戦略）」日本VE協会編，産業能率大学出版部，1985. 6
- 049 「PC-9801/E/F/M/U2/VF/VMによる VE 価値工学入門」中村剛教・関森貞夫共著，啓学出版，1985. 11
- 050 「VE 価値分析（考え方と具体的な進め方）」田中雅康著，マネジメント社，1985. 12
- 051 「VEの基本（価値分析の考え方と実践プロセス）」産業能率大学総合研究所VMセンタ編著，産業能率大学出版部，1986. 3（参考）新付1998. 5あり
- 052 「中小企業のための VEによる製品・技術開発」倉林良雄・菅沢喜男・村田光一共著，日刊工業新聞社，1987. 1
- 053 「製品・技術連関と価値工学」倉林良雄・菅沢喜男・村田光一共著，コロナ社，1987. 4
- 054 「建設業のVEの進め方（すぐに役立つ）」上野孝著，鹿島出版会，1987. 4
- 055 「BASICによる価値分析」関森貞夫著，共立出版，1988. 2
- 056 「機能分析（企業のシステム革新・効率化の基礎的ツール）」秋山兼夫著，日本規格協会，1989. 3

II. 1991(平成3)年～2010(平成22)年

- 057 「新編 現場のVEテキスト」石原勝吉著，日科技連出版社，1991. 6
- 058 「総合的生産コスト低減の実際（T u T 合理化策とVE）」渡辺大助著，日本規格協会，1991. 7 [T u T : Typen (型式) und Teile (部品)]
- 059 「パソコンによる製品機能の分析と評価（機能データベースの活用）」菅沢喜男&日本情報管理システム共著，日刊工業新聞社，1991. 9
- 060 「目的発想法」村上哲大著，都市文化社，1992. 10（参考）同一題名・ごま書房2005. 12あり
- 061 「実践価値工学（顧客満足度を高める技術）」手島直明著，日科技連出版社，1993. 4（参考）第2版「基礎編」と「応用編」2010. 6あり
- 062 「管理・間接部門の効率化マニュアル（VEアプローチによる業務改善）」秋山兼夫著，経営実務出版，1993. 12
- 063 「やさしいVEのすすめ方（コストを下げ 機能を高める手法）」根本喜夫著，日本能率協会マネジメントセンタ，1994. 7
- 064 「価値経営（VA/VE徹底応用で全天候型企業へ）」産能大学VM研究会&秋山兼夫共編著，日刊工業新聞社，1994. 9
- 065 「VEがやさしくわかる本（低コストで価値ある商品を作りだす具体的進め方）」小川政夫著，日本実業出版社，1994. 12
- 066 「設計VEによるコストダウン手法の実践・実務資料集」佐藤隆良著，総合ユニコム，1995. 6
- 067 「バリュー・エンジニアリング入門」秋山兼夫著，日本規格協会，1995. 11
- 068 施工別冊「建設VEの実践的活用術（良いものを安く提供するための具体策）」フジタ・技術本部VE推進部編著，彰国社，1996. 3
- 069 「VE発想法で 特許を取ろう」二木健治著，近代文芸社，1996. 3
- 070 「実践決定版 バリューエンジニアリング（ワークシート付）」佐藤嘉彦著，ユーリーグ，1996. 9
- 071 「VEによる製品開発活動20のステップ（顧客本位の製品活動をめざして）」澤口学著，同友館，1996. 9
- 072 「新プロジェクト管理の方法（DTCN/DTCの考え方とその方法）」江崎通彦著，アスキー総合研究所発行/アスキー出版局発売，1997. 5 [DTCN: Design To Customers Need]
- 073 「競合製品の分解技法（テアダウンの実際）」中川威著，日本能率協会マネジメントセンタ，1997. 8
- 074 「建設VE実践マニュアル：大幅コストダウンの実現」秋山兼夫著，産業能率大学出版部，1997. 9

- 075 「テアダウンのすべて（究極のベンチマーキング）」佐藤嘉彦著，日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1997. 11
- 076 「新・VEの基本（価値分析の考え方と実践プロセス）」土屋裕監修，産業能率大学VE研究グループ著，産業能率大学出版部，1998. 5
- 077 「建設VE（米国VEのすべて、制度から実例まで）」建設大臣官房技術調査室監修，国際建設技術協会編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1998. 5
- 078 日経メカニカル別冊「元気になるVE（事例で学ぶ応用と実践）」佐藤嘉彦著，日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1999. 4
- 079 「公共建築VE：その進め方と実例」建築コスト管理システム研究会編，大成出版社，2000. 11
- 080 「コストデザインの構築と実践（低コスト体質をつくる戦略的原価管理）」山崎登志雄著，かんき出版，2000. 11
- 081 「建設VE入門」秋山兼夫著，日本規格協会，2001. 9
- 082 「建設プロジェクトにおけるVEの活用」アルフォンソ・J. デリソーラ著，上野一郎監修，嘉納成男・土屋裕・中神芳夫共訳，産業能率大学出版部，2001. 10（原著）Value Engineering: Practical Applications, Alphonse J. Dell'Isola, R.S. Means Company Inc., 1997
- 083 「VEとTRIZ（革新的なテクノロジーマネジメント手法入門）」澤口学著，同友館，2002. 3
- 084 「VE Program Learning I 価値追求の基礎」土屋裕・中神芳夫共著，産能大出版部，2003. 4
- 085 「VE Program Learning II 価値追求の実践1」土屋裕・中神芳夫共著，産能大出版部，2003. 4
- 086 「VE Program Learning III 価値追求の実践2」土屋裕・中神芳夫共著，産業能率大学出版部，2003. 11
- 087 「VE Program Learning IV 価値追求の管理」土屋裕・中神芳夫共著，産業能率大学出版部，2003. 11
- 088 「ティアダウン導入ガイド（短期間でコストダウンを実現する）」堀口敬著，日刊工業新聞社，2004. 12（参考）第2版2009. 9あり
- 089 「コストダウンの系譜（わたしのVE史）」児玉啓著，日本文学館，2005. 5
- 090W 「建設プロジェクトのコストマネジメント（JR東日本のVE実践事例）」澤口学&東日本旅客鉄道・建設工事部共著，同友館，2005. 5
- 091 「土木VE実践の手引き」小泉泰通著，山海堂，2005. 7
- 092 「目的発想法（仕事の価値を劇的に高める）」村上哲大著，ごま書房，2005. 12（参考）同一題名・都市文化社1992. 10あり
- 093 「理論的発想でVE改革（誰でもできる科学的VE）」豊田陽一著，ルネッサンスブックス発行／幻冬舎ルネッサンス発売，2006. 10
- 094W 「ドリルを売るには穴を売れ（誰でも『売れる人』になるマーケティング入門）」佐藤義典著，青春出版社，2007. 1
- 095 「VEハンドブック」上野一郎監修，土屋裕・田中雅康・中神芳夫編集代表，日本バリュー・エンジニアリング協会発行／産業能率大学出版部発売，2007. 12（参考）普及版2011. 2あり
- 096 「総合評価方式を勝ち抜く建設VEのススメ」小泉泰通著，技術書院，2008. 3
- 097 「先進企業の『原価力』（価値を向上させながらコストを下げる）」若松義人著，PHPエディターズ・グループ発行／PHP研究所発売，2008. 4
- 098W 「ワンランク上の問題解決の技術（視点を変えるファンクション・アプローチのすすめ）＜実践編＞」横田尚哉著，ディスカヴァー・トゥエンティワン，2008. 7（参考）この改題加筆版2018. 3あり
- 099 「ティアダウン導入ガイド（コスト競争を勝ち抜くための成功のポイント）[第2版]」堀口敬著，日刊工業新聞社，2009. 9（注）第15章 原価企画を中心とした総合的なコストダウン活動の提案，P169-179
- 100 「良い製品＝良い商品か？（『ものづくり』から『価値づくり』へ）」福田収一著，工業調査会，2009. 9（注）第5章 これからの価値工学（プロセスや物語が価値を増大させる），P61-81
- 101 「WBSの再定義と使い方（PMとSEのためのDTCN/WBSの方法）」江崎通彦著，菊池博監修，日本資材管理協会，2010. 5 [PM: Project Management / SE: System Engineering] [WBS: Work Breakdown Structure]
- 102 「実践価値工学（価値創造経営の視座）＜基礎編＞[第2版]」手島直明著，日科技連出版社，201

0. 6 (参考) 類似題名 2011. 2あり
- 103 「実践価値工学 (価値創造経営の視座) <応用編> [第2版]」手島直明著, 日科技連出版社, 2010. 6 (参考) 類似題名 2011. 2あり
- 104 「改題版 はじめてのVE」土屋裕著, 日本バリュー・エンジニアリング協会, 2010. 6 (参考) 「VE」近代経営社1980. 11の改題版
- 105W 「問題解決のためのファンクショナル・アプローチ入門 (そもそもそれって誰のため? 何のため?)」横田尚成著, ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010. 8

Ⅲ. 2011 (平成23) 年以降

- 106 「VEハンドブック (1) (2) (3) [普及版]」上野一郎監修, 土屋裕・田中雅康・中神芳夫編集代表, 日本バリュー・エンジニアリング協会発行/産業能率大学出版部発売, 2011. 2
- 107 「価値創造経営の視座<基礎編> (実践価値工学)」手島直明著, 日科技連出版社, 2011. 2
- 108 「価値創造経営の視座<応用編> (実践価値工学)」手島直明著, 日科技連出版社, 2011. 2
- 109 「部品半減 (これならできる『究極のコスト革命』)」三木博幸著, 日本経済新聞出版社, 2011. 11
- 110 「安売りするな『価値』を売れ! (あなたの商品・サービス、ブランド)」藤村正宏著, 実業之日本社, 2011. 12 ※電子版あり (参考) マンガ版 2016. 2/新版・日本経済新聞出版社 2017. 7あり
- 111 ナットク現場改善シリーズ「よくわかる『VA/VE』の本」八代弘編著, 山本泰三・中島和夫共著, 日刊工業新聞社, 2012. 2
- 112 「利益を最大化する コスト・イノベーション設計ガイドブック (従来の設計にとらわれず、本質的な『製品改善』ができる)」佐藤嘉彦著, 日経ものづくり編, 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2012. 9
- 113 経営者新書 061 「利益を生み出す方程式 (組織改革手法)」瀬口龍一著, 幻冬舎メディアコンサルティング発行/幻冬舎発売, 2013. 5
- 114 「よい製品とは何か (スタンフォード大学伝説の『ものづくり』講義)」ジェイムズ・L. アダムズ著, 石原薫訳, ダイヤモンド社, 2013. 6 ※電子版あり (注) 表10-1 製品の良し悪し評価, P275 (原著) Good Products: Bad Products, James L. Adams, The McGraw-Hill Companies Inc., 2012
- 115 DTCNシリーズNO. 4 「知恵を創り出すPMD手法」大竹和芳著, にじゅういち出版, 2013. 11 [PMD: 目的 (Purpose) と方法 (Method) のダイアグラム (Diagram)]
- 116 「コストデザイン (トヨタ/研究者の実践コミュニティ理論)」岡野浩・小林英幸共編, 大阪公立大学共同出版会, 2015. 3 (注) Part 3 5. 設計原価低減とVI (Value Innovation) 活動・RR (良品廉価) - CI (Cost Innovation) 活動, P124-131
- 117 「最新 日本式モノづくり工学入門 (イノベーション創造型VE/TRIZ)」澤口学著, 同友館, 2015. 3 (注) 第3章 VE (価値工学) 概論, P47-74
- 118 「VEの魂 (プロジェクト・リーダーの9割が誤解している本当のこと)」チーム310著 (佐藤嘉彦・大西正規・坂本幸一・松澤郁夫・山田孝・横田尚哉共同執筆), 日経BP社発行/日経BPマーケティング発売, 2015. 11 ※電子版あり
- 119 「サービス・リエンジニアリング (顧客の感動を呼ぶホスピタリティを低コストで実現する)」伊藤嘉博編著, 中央経済社発行/中央経済グループパブリッシング発売, 2016. 1 [ホスピタリティ: Hospitality=喜びの共有 (おもてなし)]
- 120 「マンガでわかる 安売りするな『価値』を売れ!」藤村正宏著, 八尾なおや漫画, 実業之日本社, 2016. 2 ※電子版あり
- 121 「サービスの価値を高めて豊かになる (豊かさを実現する6つの価値)」諏訪良武著, リックテレコム, 2016. 11
- 122W 「超解 問題解決で面白いほど仕事はかどる本」横田尚哉著, あさ出版, 2017. 1 ※電子版あり
- 123 「新版 安売りするな『価値』を売れ!」藤村正宏著, 日本経済新聞出版社, 2017. 7 ※電子版あり
- 124W ディスカヴァー携書 196 「『誰のため?』『何のため?』から考えよう (GE流・問題解決の技術『ファンクショナル・アプローチ』)」横田尚哉著, ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2018. 3 ※電子版あり (参考) 「ワンランク上の問題解決の技術」2008. 7の改題加筆版

125W 「自社流にカスタマイズする部品VEとトヨタ生産方式（多品種少量生産のVEと工程・作業改善）」
山本秀幸著，東京図書出版発行／リフレ出版発売，2018. 4

B. デザイン・アプローチ技法／TRIZ／QFD／創造技法（発想法）

[注1] デザイン・アプローチ技法：ワーク・デザイン（Work Design：G.ナドラー）／ブレイクスルー思考（Breakthrough Thinking：日比野省三）／デザイン思考（Design Thinking：米国IDEO社）

[注2] TRIZ：Teoriya Resheniya Izobreatatelskikh Zadatch（ロシア語）⇒The Theory of Inventive Problem Solving（その英訳）＝発明的問題解決理論（G.アルトシュラー）

[注3] QFD：Quality Function Development＝品質機能展開

I. 1990（平成2）年以前

- 001 「経営の知恵（独創性開発入門）」上野一郎著，六興出版部，1963. 7（注）価値分析ーコストダウンへの応用，P213-222
- 002 「ワーク・デザイン（システム設計の新手法）」吉谷龍一著，日刊工業新聞社，1965. 6（注）4. 13 ワークデザインとヴァリエーションエンジニアリング，P211
- 003 「ワーク・デザイン」ジェラルド・ナドラー著，村松林太郎ほか共訳，建帛社，1966. 8（原著）Work Design, Gerald Nadler, Richard D. Irwin Inc., 1963
- 004 「ワークデザイン入門（プログラム学習による）」師岡孝次著，日科技連出版社，1966. 11（注）2. 6 価値分析，P47-50
- 005 「独創力開発のすすめ（価値分析は独創力で花開く）」落合三雄著，産能短大出版部，1968. 3
- 006 「増補改訂版 シネクティクス（創造工学への道）」W.J.ゴードン著，大鹿譲・金野正共訳，ラテイス発行／丸善発売，1968. 4（原著）Synectics, William J. Gordon, Harper & Brothers, 1961
- 007 オペレーションズ・マネジメント・シリーズ「理想システム設計（ワークデザインの新しい発展）」ジェラルド・ナドラー著，吉谷龍一訳，松田武彦監修，東洋経済新報社，1969. 11（原著）Work Design: The Ideals Concept, Gerald Nadler, Richard D. Irwin Inc., 1967
- 008 「創造性の科学（図解・等価変換理論入門）」市川亀久弥著，日本放送出版協会，1970. 5 [等価変換理論＝市川亀久弥（1915-2000）の創造技法]
- 009 「ワークデザインによる システム設計の実際」師岡孝次著，日科技連出版社，1971. 7
- 010 「新版 独創力を伸ばせ」A.F.オズボーン著，上野一郎訳，ダイヤモンド社，1971. 9（原著）Applied Imagination: Principles and Procedure of Creative Thinking[3rd Edition], Alex F. Osborn, Charles Scribner Sons, 1963（参考）新装版1982. 3あり
- 011 「独創的発想法DAX」師岡孝次著，日本生産性本部，1971. 9 [DAX: Design Approach X=Work Design] [日本生産性本部⇒生産性出版]
- 012 「発明発想入門」G.アルトシュレル著，遠藤敬一・高田孝夫共訳，アグネ，1972. 5（注）ARIZ：発明課題の解決アルゴリズム→TRIZ
- 013 「ビジネスマンの思考革新」安本美典編著，産業能率短期大学出版部，1972. 8（注）第1章 第3節 機能中心に考えること，，P32-53
- 014 「経営革新の技術（ワーク・デザインのはなし）」古井丸昭二著，日本経営図書，1973. 12（注）V. 3 機能展開，P198-203/V. 9 VEとの違い，P215-216
- 015 「KJ法とワーク・デザイン方式による 問題解決ワークブック」海辺不二雄監修，小泉智義著，ダイヤモンド社，1974. 5（注）第5章 目的を決定する本格的進め方，P78-123 [KJ法＝川喜田二郎（1920-2009）の創造技法]
- 016 「NM法のすべて（アイデア生成の理論と実践的方法）」中山正和著，産業能率大学出版部，1977. 3 [NM法＝中山正和（1923-2002）の創造技法]（参考）増補版1980. 6あり
- 017 「創造工学（等価変換創造理論の技術開発分野への導入とその成果）」市川亀久弥著，ラテイス発行／丸善発売，1977. 12（注）6 [1] (8) VEの機能分析と ϵ 辞典法，P362-363（参考）同一題名・開発社1992. 2あり
- 018 「NM法のすべて（アイデア生成の理論と実践的方法）[増補版]」中山正和著，産業能率大学出版部，1980. 6

- 019 経営生産実務シリーズ1「ワークデザイン技法」吉谷龍一著，日刊工業新聞社，1981. 4（注）第3章 1. 設計すべきシステムの機能決定（ワークデザインにおける機能とVEにおける機能のちがう点），P28-31
- 020 「製品開発の創造的発想法（新しい概念の開発）」伊藤利朗著，技術評論社，1980. 9
- 021 「創造開発技法ハンドブック」高橋誠編著，日本ビジネスレポート，1981. 3（注）64. VA法，P202-205
- 022 「新装版 独創力を伸ばせ」A.F. オズボーン著，上野一郎訳，ダイヤモンド社，1982. 3
- 023 「新製品開発の知恵（ヒントからアイデアへの構想）」中山正和著，日本能率協会，1982. 6（注）第6話 価値分析（VE），P180-183
- 024 「発想法のすべて」中山正和著，産業能率大学出版部，1986. 4
- 025 プロのノウハウ「現場マンのアイデア発想（あなたもアイデアマンになれる）」合原一夫著，啓学出版社，1986. 4
- 026 「新製品開発のための品質展開活用の実際」赤尾洋二著，日本規格協会，1988. 1
- 027 日経文庫402「発想法入門」星野匡著，日本経済新聞社，1989. 3（参考）第2版1997. 11／第3版2005. 10あり
- 028 物流実践シリーズ理論と実務「ワークデザインによる 物流システム設計」日本物流管理協議会監修，高橋輝男著，白桃書房，1990. 11

II. 1991（平成3）年～2010（平成22）年

- 029 「ブレイクスルー思考（ニューパラダイムを創造する7原則）」ジェラルド・ナドラー&日比野省三共著，佐々木元訳，ダイヤモンド社，1991. 5（原著）Breakthrough Thinking, Gerald Nadler & Shozo Hibino, Prima Publishing & Communications, 1990（参考）新付1997. 6あり
- 030 「創造工学 [増訂3版]」服部敏夫著，開発社，1992. 2（注）第27章 アイデアの開発手法，P390-425（参考）同一題名・ラティス1977. 12あり
- 031 日経メカニカル別冊「機械技術者のための創造塾（斬新な発想と豊かな感性を磨く）」日経メカニカル編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1992. 7
- 032 「グループ活動に役立つ アイデア・発想法」松田亀松著，日科技連出版社，1992. 8
- 033 「創造力事典（21世紀を展望する）」高橋誠責任編集，モード学園出版局，1993. 4（参考）新編2002. 12あり
- 034 「ブレイクスルー・リエンジニアリング（50%のコストダウンがはかれる）」日比野省三・櫻井敬三・関昭二共著，産業能率大学出版部，1994. 5
- 035 「発想の技法（創造的アイデアを生み出す実践技法）」さとう秀徳著，日本能率協会マネジメントセンタ，1994. 10
- 036 クレスト選書「はじめに仮説ありき（明日を拓く『技術屋魂』の世界）」佐々木正著，クレスト社，1995. 11
- 037 「発想の瞬間（天才たちはいかにして発明・発見したか）」高橋誠著，PHP研究所，1996. 8（参考）改題加筆・文庫本版「ひらめきの法則」日本経済新聞出版社・2012. 6あり
- 038 「右脳をフル活用する3分間発想法（楽しみながらアイデアが面白いほどわいてくる）」山口善民著，産能大学出版部，1997. 4（注）第4章（1）VEチームで革新的アイデアを出す，P152-157
- 039 「はやわかり品質機能展開表45例」伊豫部将三著，日刊工業新聞社，1997. 5
- 040 「新・ブレイクスルー思考（ニューコンセプトを創造する7つの原則）」ジェラルド・ナドラー&日比野省三共著，渡辺不二雄監訳，ダイヤモンド社，1997. 6（原著）Breakthrough Thinking(Revised 2nd Edition), Gerald Nadler & Shozo Hibino, Prima Communications Inc., 1994
- 041 早稲田大学システム科学研究所叢書「システム思考とシステム技術」五百井清右衛門ほか共著，白桃書房，1997. 6（注）第3編 ワークデザインによるシステム設計法，P107-20
- 042 「QFDガイドブック（品質機能展開の原理とその応用）」小野道照・永井一志共著，日本規格協会，1997. 7
- 043 超発明術TRIZシリーズ2「やさしい事例に見る活用例<導入編>」ゲンリック・アルトシューラー著，三菱総合研究所IMプロジェクト推進室訳，日経メカニカル編集部編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1997. 10（参考）2版1999. 9あり

- 044 「アイデア発想の基本 [集大成] (仕事に役立つノウハウ集)」 さとう秀徳著, 日本能率協会マネジメントセンター, 1997. 10
- 045 [日経文庫 402](#) 「発想法入門 [第2版]」 星野匡著, 日本経済新聞社, 1997. 11 (参考) 第3版 2005. 10あり
- 046 超発明術TRIZシリーズ1「原理と概念に見る全体像<入門編>」 ゲンリック・アルトシューラー著, 遠藤敬一・高田孝夫共訳, 日経メカニカル編集部編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1997. 11 (参考) 2版1999. 12あり
- 047 実際の設計選書「TRIZ入門 (思考の法則性を使ったモノづくりの考え方)」 実際の設計研究会編著, 畑村洋太郎ほか共著, 日刊工業新聞社, 1997. 12
- 048 「『ものづくり』経営革新 (顧客価値創造プロセスの構築)」 下村博史・坂瓜裕共著, 生産性出版, 1998. 2
- 049 「実践的QFDの活用 (新しい価値の創造)」 赤尾洋二ほか監修, 新藤久和編, 日科技連出版社, 1998. 6
- 050 実際の設計選書「創造的技術者のための研究企画 (立ち上げから成果確認まで)」 実際の設計研究会監修, 内崎巖・佐藤知正共著, 日刊工業新聞社, 1998. 11
- 051 超発明術TRIZシリーズ3「図解40の発明原理<テクニック編>」 ゲンリック・アルトシューラー著, 日経メカニカル編集部編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1999. 1
- 052 「図解TRIZ (革新的技術開発の技法)」 山田郁夫監修, 三菱総合研究所・知識創造研究部編著, 日本実業出版社, 1999. 7
- 053 超発明術TRIZシリーズ2「やさしい事例に見る活用例<導入編> [2版]」 ゲンリック・アルトシューラー著, 三菱総合研究所知識創造研究部訳, 日経メカニカル編集部編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1999. 9
- 054 実際の設計選書「設計のナレッジマネジメント (創造設計原理とTRIZ)」 中尾政之・畑村洋太郎・服部和隆共著, 日刊工業新聞社, 1999. 12
- 055 超発明術TRIZシリーズ1「原理と概念に見る全体像<入門編> [2版]」 ゲンリック・アルトシューラー著, 遠藤敬一・高田孝夫共訳, 日経メカニカル編集部編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 1999. 12
- 056 超発明術TRIZシリーズ4「TRIZを使った問題解決<演習編>」 ブラディス・コッセ著, 産能大TRIZ企画室監訳, 日経メカニカル編集部編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 2000. 3
- 057 超発明術TRIZシリーズ6「クラシカルTRIZの技法<理論編>」 Ideation International 著, 産能大TRIZ企画室監訳・解説, 日経メカニカル編集部編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 2000. 9
- 058 超発明術TRIZシリーズ5「創造的問題解決の技法<思想編>」 ユーリ・サラマトフ著, 三菱総合研究所知識創造研究チーム訳, 日経メカニカル編集部編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 2000. 11
- 059W 「VEとTRIZ (革新的なテクノロジーマネジメント手法入門)」 澤口学著, 同友館, 2002. 3
- 060 「発想する会社! (世界最高のデザイン・ファームIDEOに学ぶイノベーションの技法)」 トム・ケリーほか共著, 鈴木主税・秀岡尚子共訳, 早川書房, 2002. 7 (注) 第4章 究極のブレインストーミング, P65-79 (原著) The Art of Innovation: Lessons in Creativity from IDEO America's Leading Design Firm, Tom Kelley & Jonathan Littman, International Creative Management Inc., 2001
- 061 「新編 創造力事典 (日本人の創造力を開発する)」 高橋誠編著, 日科技連出版社, 2002. 12 [創造技法: 主要 88 技法]
- 062 「TRIZの理論とその展開 (システムティック・イノベーション)」 産業能率大学CPM・TRIZ研究会監修, 産業能率大学出版部, 2003. 4
- 063 「知識創造の方法論 (ナレッジワーカーの作法)」 野中郁次郎・紺野登共著, 東洋経済新報社, 2003. 4 **※電子版あり**
- 064 「技術者のための問題解決手法 TRIZ」 井坂義治著, 普賢堂, 2004. 2
- 065 「顧客価値創造ハンドブック (製造業からサービス業・農業まで感動を創造するシステム)」 神田範明編著, 顧客価値創造ハンドブック編集委員会編, 日科技連出版社, 2004. 6
- 066 [丸善ライブラリー365](#) 「ブレイクスルー思考のすすめ」 日比野創・日比野省三共著, 丸善出版, 200

4. 8

- 067 「超思考法『パパ・ママ』創造理論（『異種結婚』で大ヒット商品をつくる）」日比野省三著，講談社，2004. 9
- 068 「新技術・新商品開発の極意（革新的発明に学ぶ創造のヒント）」飯田清人著，工業調査会，2004. 10
- 069 「図解でわかる 等価変換理論（技術開発に役立つ70のポイント）」等価変換創造学会編，日刊工業新聞社，2005. 10
- 070 日経文庫 1077 「発想法入門 [第3版]」星野匡著，日本経済新聞社，2005. 10（注）VI 4 プレインライティング，P165-170
- 071 「QFD・TRIZ・タグチメソッドによる 開発・設計の効率化（エクセル例題で活用のノウハウが修得できる）」今野勤ほか共著，日科技連出版社，2005. 11
- 072 「独創の条件（画期的商品はいかに生まれたか）」石井正道著，NTT出版，2005. 11 ※電子版あり
- 073 「ハイ・コンセプト（新しいことを考え出す人の時代）」ダニエル・H.ピンク著，大前研一訳・解説，三笠書房，2006. 5（原著）The Whole New Mind, Daniel H. Pink, Raphael Sagalyn Inc., 2005
- 074 ものづくり技術アドバンス「図解 これで使えるTRIZ/USIT（技術者の創造性を開発する画期的手法）」粕谷茂著，日本能率協会マネジメントセンタ，2006. 6 [USIT: Unified Standard Inventive Thinking=結合的構造化発明思考法]
- 075 「『ひらめき』の設計図（創造への扉は、いつ、どこから、どうやって現れるのか）」久米是志著，小学館，2006. 6
- 076 「イノベーションの達人！（発想する会社をつくる10の人材）」トム・ケリー&ジョナサン・リットマン共著，鈴木主税訳，早川書房，2006. 6（原著）The Ten Faces of Innovation: IDEO's Strategies for Beating the Devil's Advorcate & Driving Creativity throughout Your Organization, Tom Kelley & Jonathan Littman, International Creative Management Inc., 2005
- 077 日経ものづくりの本「ものづくりの教科書 革新のための7つの手法」日経ものづくり編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，2006. 8（注）第6章 TRIZ，P201-251/第6章 QFD，P165-200
- 078 「開発設計のためのTRIZ入門（発明を生む問題解決の思考法）」笠井肇著，日科技連出版社，2006. 10（注）第5章 新機能実現のためのTRIZ，P103-111
- 079 おはなし科学・技術シリーズ「おはなし新商品開発」圓川隆夫ほか共著，日本規格協会，2007. 1
- 080 「デザイン思考の工具箱（イノベーションを生む会社のつくり方）」奥出直人著，早川書房，2007. 2（注）この加筆修正・文庫本版2013. 11あり
- 081 「はじめよう！カンタンTRIZ（頭の片隅にあるアイデアをかたちにする本）」長谷部光雄・小池忠男共著，日刊工業新聞社，2007. 4
- 082 「ブレインライティング（短時間で大量のアイデアを叩き出す『沈黙の発想会議』）」高橋誠著，東洋経済新報社，2007. 11 ※電子版あり [ブレイン・ライティング: Brain Writing]
- 083 SANNOMANAGEMENTコンセプトシリーズ「バリューイノベーション（顧客価値・事業価値創造の考え方と方法）」産業能率大学総合研究所・バリューイノベーション研究プロジェクト編著，原田雅顕監修，産業能率大学出版部，2007. 12
- 084 「本当に役立つTRIZ（眼からうろこが！12の発明の原理だけでアイデア発想）」TRIZ研究会編，日刊工業新聞社，2008. 5（注）第3章 3. 1 製品の機能・問題が発生しているメカニズムを全員で見える化する，P22-28
- 085 「第3世代のQFD（開発プロセスマネジメントの品質機能展開）」永井一志・大藤正共編著，日科技連出版社，2008. 6
- 086 「はじめよう！TRIZで低コスト設計」小池忠男ほか共著，日刊工業新聞社，2008. 12
- 087 「研究開発における創造性」河野豊弘著，白桃書房，2009. 2
- 088 「デザイン・リサーチ・メソッド10（未来のニーズをカタチにする先端手法）」日経デザイン編，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2009. 6（参考）新装版2015. 3あり
- 089 「デザイン思考の仕事術：ひらめきを計画的に生み出す」棚橋弘季著，日本実業出版社，2009. 7
- 090 「第3世代のQFD事例集（品質機能展開と管理・改善手法との融合）」日科技連QFD研究部会編，

日科技連出版社，2009. 12

091 「商品開発のための品質機能展開（知識変換のためのSEICモデルとQFD）」赤尾洋二編著，日本規格協会，2010. 3 [SEIC: Socialization, Externalization, Combination, Internalization=共同化・表出化・連続化・内面化]

092 [PHP新書 662](#) 「マインドアップ（デザイン思考の仕事術）」木全賢・松岡克政共著，PHP研究所，2010. 4

093 [ハヤカワ新書 juice012](#) 「デザイン思考が世界を変える（イノベーションを導く新しい考え方）」ティム・ブラウン著，千葉敏生訳，早川書房，2010. 4（参考）[ハヤカワ文庫](#) 2014. 5あり

094 JSQC選書「QFD（企画段階から質保証を実現する具体的方法）」日本品質管理学会監修，大藤正著，日本規格協会，2010. 5

095 「東大式 世界を変えるイノベーションのつくり方」東京大学 i.school 編，早川書房，2010. 5

096 「イノベーションの知恵」野中郁次郎・勝見明共著，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2010. 10

097 「モノ・コトづくりのデザイン」川島蓉子著，日本経済新聞出版社，2010. 11

098 「特許的思考によるアイデア発想法（世の技術者におくる）」橘和之著，発明協会，2010. 11

099 「ビジネスのためのデザイン思考」紺野登著，東洋経済新報社，2010. 12 **※電子版あり**

Ⅲ. 2011（平成23）年以降

100 「価値づくり経営の論理：日本製造業の生きる道」延岡健太郎著，日本経済新聞出版社，2011. 9

101 「革新的課題解決法」長田洋編，澤田学ほか共著，日科技連出版社，2011. 11 [TRIZ創造技法の改良]

102 「QFDとTRIZ（選ばれる商品の企画から開発）」井坂義治著，普賢堂，2012. 4

103 「デザイン思考と経営戦略」奥出直人著，NTT出版，2012. 5

104 「TRIZ発想法（お客様や上司からの無理難題をサクッと解決する）」本田秀行著，秀和システム，2012. 6

105 [日経ビジネス人文庫 15-1](#) 「ひらめきの法則」高橋誠著，日本経済新聞出版社，2012. 6（参考）「発想の瞬間」PHP研究所1996. 8の改題加筆・文庫本版

106 「価値創造の思考法」小阪裕司著，東洋経済新報社，2012. 11 **※電子版あり**

107 「アイデア・イノベーション（創発を生むチーム発想術）」堀公俊・加藤彰共著，日本経済新聞出版社，2012. 11

108 「故障・不具合対策の決め手（I-TRIZによる原因分析・リスク管理）」スヴェトラナ・ヴィスネポルスキー著，黒澤慎輔訳，日刊工業新聞社，2013. 2

109 「リ・インベンション（概念 [コンセプト] のブレークスルーをどう生み出すか）」三品和広&三品ゼミ共著，東洋経済新報社，2013. 3 [リ・インベンション: Re-Invention]

110 「デジタル・クリエイティビティ（これからの広告に必要な創造性）」村上知紀著，翔泳社，2013. 8 **※電子版あり**

111 「高橋宣行の発想フロー（ワークデザインの手順）」高橋宣行著，日本実業出版社，2013. 9

112 「創発デザインの概念」松岡由幸編著，宮田悟志ほか共著，共立出版，2013. 10

113 [ハヤカワ文庫 NF398](#) 「デザイン思考の道具箱（イノベーションを生む会社のつくり方）」奥出直人著，早川書房，2013. 11 **※電子版あり**（参考）「デザイン思考の道具箱」2007. 2の文庫本版

114 「システム×デザイン思考で世界を変える（慶應SDM「イノベーションのつくり方」）」前野隆司編著，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2014. 3 [SDM: System Design Management=システム・デザイン・マネジメント（システム思考×デザイン思考）]

115 「デザインする思考力（東大エグゼクティブ・マネジメント）」東大EMP・横山禎徳編，東京大学出版会，2014. 3 [EMP=エグゼクティブ・マネジメント・プログラム]

116 未来へつなぐデジタルシリーズ 23 「アイデア発想法と協同作業支援」宗森純ほか共著，共立出版，2014. 5

117 [ハヤカワ文庫 NF407](#) 「デザイン思考が世界を変える（イノベーションを導く新しい考え方）」ティム・ブラウン著，千葉敏生訳，早川書房，2014. 5（原著）Change by Design: How Design Thinking Transforms Organizations and Inspires Innovation, Tim Brown, Harper Business, 2009

- 118 「クリエイティブ・マインドセット（想像力・好奇心・勇気が目覚める驚異の思考法）」トム・ケリー & デイヴィット・ケリー共著、千葉敏生訳、日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売、2014. 5 ※電子版あり（原著）Creative Confidence: Unleashing the Creative Potential within Us All, Tom Kelley & David Kelley, Flecher & Company, 2013
- 119 「トリーズ（TRIZ）の発明原理40（あらゆる問題解決に使える科学的思考支援ツール）」高木芳須著、ディスカヴァー・トゥエンティワン、2014. 8 ※電子版あり
- 120 日経文庫1928「ビジュアル アイデア発想フレームワーク」堀公俊著、日本経済新聞出版社、2014. 8（注）第IV章 45. バリュー・エンジニアリング、P104-105
- 121 「技術者のイノベーション能力を高める思考テクニック I-TRIZ（天才の思考を移植する科学的的方法論）」上村輝之著、日科技連出版社、2014. 10
- 122 「実践 デザイン・シンキング（クリエイティブな思考で、ゼロ発想のイノベーションへ）」日経デザイン編、日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売、2014. 12 ※電子版あり [日経デザイン2014年5月号特集「事例に学ぶデザイン・シンキング」&11月号特集「デザイン・シンキング革命」の企業事例]
- 123 「ものづくりの創造性（持続可能なコンパクト社会の実現に向けて）」野口尚孝・井上勝雄共著、海文堂出版、2014. 12
- 124 「ものづくりのための創造性トレーニング：温故創新」渡邊嘉二郎ほか共著、コロナ社、2015. 2
- 125 「101デザインメソッド（革新的な製品・サービスを生む『アイデアの道具箱』）」ヴィージェイ・クマー著、渡部典子訳、英治出版、2015. 2 ※電子版あり
- 126W 「最新 日本式モノづくり工学入門（イノベーション創造型VE/TRIZ）」澤口学著、同友館、2015. 3（注）第4章 TRIZ（革新的問題解決理論）概論、P75-89／第5章 TRIZ手法、P91-127
- 127 「デザイン・リサーチ・メソッド10（未来を描き出す最強の発想法）[新装版]」日経デザイン編、日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売、2015. 3 ※電子版あり
- 128W 「バリュー・プロポジション・デザイン（顧客が欲しがらる製品やサービスを創る）」アレックス・オスターワルダーほか共著、関美和訳、翔泳社、2015. 4
- 129 日経文庫1332「発想法の使い方」加藤昌治著、日本経済新聞出版社、2015. 4
- 130 「デザイン思考の教科書（欧州トップスクールが教えるイノベーションの技術）」アネミック・ファン・ブイエンほか共編、石原薫訳、日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売、2015. 6
- 131 「21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由」佐宗邦威著、クロスメディア・パブリッシング発行／インプレス発売、2015. 8 ※電子版あり
- 132 「超図解『デザイン思考』でゼロから1をつくり出す」中野明著、学研プラス、2015. 11 ※電子版あり
- 133 工場管理2015年12月臨時増刊号「トコトンやさしいアイデア発想法21事例」実践マネジメント研究会編、日刊工業新聞社、2015. 12
- 134 「ブレイクスルー思考トレーニング（飛び抜けたアイデアを出す人がやっている）」ひもとあやか著、日比野省三監修、日本実業出版社、2016. 2
- 135 「メカ屋のための脳科学入門（脳をリバースエンジニアリングする）」高橋宏和著、日刊工業新聞社、2016. 3 [機能→構造の順方向を設計とすると、構造→機能はリバースエンジニアリングの考え方]（参考）続編2017. 7あり
- 136 「製品開発の問題解決アイデア出しバイブル（TRIZで開発アイデアを10倍に増やす!）」井坂義治著、日刊工業新聞社、2016. 5
- 137 「デザイン思考のつくりかた（実践企業とトップクリエイターに学ぶ成功のポイントと落とし穴）」日経デザイン編、日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売、2016. 5 ※電子版あり
- 138 「偉大な発明に学ぶアイデアのつくり方（思考展開ワークショップ）」黒須誠治監修、三原康司著、日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売、2016. 6 ※電子版あり
- 139 「超一流のアイデア力」中野明著、日経B P社発行／日経B Pマーケティング発売、2016. 6 ※電子版あり
- 140 PHPビジネス新書356「メタ思考トレーニング（発想力を飛躍的にアップする34問）」細谷功著、PHP研究所、2016. 6 ※電子版あり
- 141 日経B Pムック「デザインシンキング入門（ビジネスの課題を創造的に解決する）」日経B P社発行／

- 日経BPマーケティング発売，2016. 8 ※電子版あり
- 142 「ゼロから1を生む思考法（東大工学部教授が教える）」中尾政之著，三笠書房，2016. 9
- 143 「アイデアソン！（アイデアを実現する最強の方法）」須藤順・原亮共著，徳間書店，2016. 9 ※電子版あり [アイデアソン＝アイデア＋マラソンの造語（ブレインストーミング類似）]
- 144 「入社10年分の思考スキルが3時間で学べる（ビジネスプロフェッショナルの必須基礎知識）」斎藤広達著，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2016. 9 ※電子版あり
- 145 「ものづくりの発想法（価値の創造のために）」渡邊嘉二郎・城井信正共著，法政大学出版局，2016. 10
- 146 「デザインスプリント（プロダクトを成功に導く短期集中実践ガイド）」リチャード・バンフィールドほか共著，安藤幸央ほか監訳，牧野聡訳，オライリー・ジャパン発行／オーム社発売，2016. 11（原著）Design Sprint: A Practical Guidebook of Building Great Digital Products, Richard Banfield & C. Todd Lombardo & Trace Wax, O'Reilly Media Inc., 2015
- 147 「ブレイクスルーへの思考（東大先端研が実践する発想のマネジメント）」東京大学先端科学技術研究センター&神崎亮平共編，東京大学出版会，2016. 12
- 148 「創造力を鍛える マインドワンダリング（モヤモヤから価値を生み出す東大式トレーニング）」中尾政之ほか共著，日刊工業新聞社，2017. 2 [マインドワンダリング＝心理学用語『思考のさまよい』]
- 149 「アイデア大全（創造力とブレイクスルーを生み出す42のツール）」読書猿著，フォレスト出版，2017. 2
- 150 「チームで考える『アイデア会議』（考具 応用編）」加藤昌治著，CCCメディアハウス，2017. 2 ※電子版あり
- 151 「ブリッジング [Bridging]（成果を生み出すチームとプロセス）」広瀬郁著，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2017. 3 ※電子版あり
- 152 「ビジネス価値を最大化する発想法（世の中に役立つヒットアイデアの作り方）」井上裕一郎著，現代書林，2017. 6
- 153 「続 メカ屋のための脳科学入門（記憶・学習／意識編）」高橋宏和著，日刊工業新聞社，2017. 7
- 154 「賢人の流儀『非凡ブレイクスルー思考』（故ナドラー教授との共著遺稿）」ナドラー&日比野省三共著，三恵社，2017. 8
- 155 JSQC選書「品質機能展開 [QFD] の基礎と活用（製品開発情報の連鎖とその見える化）」日本品質管理学会監修，永井一志著，日本規格協会，2017. 9
- 156 「東大教養学部『考える力』の教室」宮澤正憲著，SBクリエイティブ，2017. 9 ※電子版あり
- 157 「まんがでわかる デザイン思考」小田ビンチシナリオ，坂元勲まんが，田村大監修，小学館，2017. 10 ※電子版あり
- 158 「エンジニアのためのデザイン思考入門」大内孝子編著，齊藤滋規ほか共編著，翔泳社，2017. 12 ※電子版あり
- 159 「おとなのための創造力開発ドリル（『まだないもの』を思いつく24のトレーニング）」大岩直人・下浜臨太郎共著，インプレス，2017. 12
- 160 「デザイン組織のつくりかた（デザイン思考を駆動させるインハウスチームの構築の運用ガイド）」ピーター・メルホルツ&クリスティン・スキナー共著，安藤貴子訳，長谷川敦士監訳，ビー・エヌ・エヌ新社，2017. 12 ※電子版あり
- 161 「質的イノベーション時代の思考力（科学技術と社会をつなぐデザインとは）」田浦俊春著，勁草書房，2018. 2
- 162 「アイデア発想法16（どんなとき、どの方法を使うか）」矢野経済研究所・未来企画室著，CCCメディアハウス，2018. 4 ※電子版あり

C. 開発工学・設計工学 [創造設計（構想設計／概念設計）・開発設計（詳細設計）・生産設計など]

／組立性・分解性設計（DFMA）／コンカレント・エンジニアリング・PLM

[注1] DFMA: Design for Manufacture and Assembly＝組立性・分解性を考慮した設計

※DFX: Design for・・・(X)の用語もある。1)DFM＝製造作業性，2)DFE＝試験容易性，

3)DFS＝サービス性・保守性，4)DFE＝環境負荷軽減，5)DFU＝ユーザー・利用者

[注2] コンカレント・エンジニアリング：Concurrent Engineering＝新製品開発プロセスを同時並行的に進めて、開発期間の短縮を図るもの

[注3] PLM：Product Lifecycle Management＝製品ライフサイクル管理

I. 1990（平成2）年以前

- 001 「製品設計データブック」D.C.グリーンウッド編，松下電器電化事業本部・技術研究所生産技術研究会訳，日刊工業新聞社，1964. 7（原著）Engineering Data for Product Design, Douglass C. Greenwood, McDraw-Hill Book Co., 1961
- 002 「創造工学による設計手順（アイデアからパテントまで）」ハロルド・R.ビューール著，科学と人間の会創造性研究所訳，鹿島研究所出版会，1965. 10（原著）Creative Engineering Design, Harold R. Buhl, Iowa State University Press, 1960
- 003 「生産性設計入門」山村誠一著，白桃書房，1967. 6
- 004 設計工学シリーズ1「設計工学基礎」北郷薫著，丸善，1972. 6
- 005 設計工学シリーズ4「生産性設計」阿武芳朗編，丸善，1973. 11（注）13. 価値分析，P395-414
- 006 「エンジニアリング入門（創造的問題解決の技術）」エドワード・V.クリック著，渡辺真一ほか共訳，ソーテック社，1976. 12（原著）An Introduction to Engineering & Engineering Design [2nd Edition], Edward V. Klick, John Wiley & Sons Inc., 1965/1969
- 007 「自動化機構300選（制御回路付き）」熊谷卓編，日刊工業新聞社，1978. 12（参考）改訂新版2011. 3あり
- 008 「エンジニアリングシステム設計工学」赤木新介著，共立出版，1982. 5
- 009 「開発工学入門（理論・実践・手法）」ダイヤモンド経営開発情報編集部編，開発工学研究会運営委員会監修，ダイヤモンド社，1982. 11
- 010 「設計工学概論」長江貞彦編著，日刊工業新聞社，1983. 3
- 011 「メカニズムの事典」伊藤茂編，理工学社，1983. 5（参考）改題縮刷版「メカニズムの事典<機械の素>」オーム社・2013. 12あり
- 012 「商品開発（100のアドバイス）」星満著，日刊工業新聞社，1984. 2（注）第6章 商品開発を支えるもの（VAの進め方と考え方），P102-123（参考）類似題名1988. 1あり
- 013 「社内標準化便覧」社内標準化便覧編集委員会編，日本規格協会，1985. 11（注）II. 8. 機能分析，P291-349（参考）第2版1989. 12/第3版1995. 2あり
- 014 放送大学教材「設計工学（解析と総合）」阿武芳朗編著，放送大学教育振興会発行/日本放送出版協会，1986. 3（注）1-設計概説，P9-19/14. 5 価値分析，P136-141（参考）同一題名1990. 3あり
- 015 「新商品開発開発技法ハンドブック」高橋誠監修・編著，日本ビジネスレポート，1986. 7（注）II 6. バリュアアナリシス法，VA発想法，P295-301/VD（バリュージェザイン）法，P302-308/VEAM法，P309-314
- 016 「開発工学（シーザーニーズ・ジョイントテクノロジー）」大石不二夫編著，朝倉書店，1987. 9
- 017 「設計の方法（創造的設計へのアプローチ）」岸本行雄著，日科技連出版社，1987. 11（注）1. 2（1）VAによるコストダウン，P206-208
- 018 「商品化設計（100のアドバイス）」星満著，日刊工業新聞社，1988. 1（注）47. VAとコストダウン，P94-95（参考）類似題名1984. 2あり
- 019 実際の設計選書「実際の設計（機械設計の考え方と方法）」畑村洋太郎編著，日刊工業新聞社，1988. 7（参考）改訂新版2014. 12あり
- 020 「経験に基づいた機械設計のイロハ」宗孝著，日刊工業新聞社，1989. 2
- 021 「社内標準化便覧[第2版]」社内標準化便覧編集委員会編，日本規格協会，1989. 1（注）II. 10. 機能分析，P381-448（参考）第3版1995. 2あり
- 022 放送大学教材「設計工学（解析と総合）」塚田忠夫編著，放送大学教育振興会発行/日本放送出版協会，1990. 3（注）1-設計と創造性，P9-20（参考）同一題名1986. 3あり
- 023 「実践自動化機構図解集」熊谷卓編，日刊工業新聞社，1990. 4（参考）続編1994. 10/新編2010. 2あり

II. 1991 (平成3)年～2010 (平成22)年

- 024 日経メカニカル別冊「メカ設計塾①構想設計から機械要素の決め方まで／②基礎から学ぶ実践的メカトロ設計／③設計に必要な材料・製造技術の基礎と応用」日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1991. 5
- 025 「設計の原理（創造的機械設計論）」N. P. スー著，畑村洋太郎監訳，朝倉書店，1992. 4（原著）The Principles of Design, Nam P. Suh, Oxford University Press Inc., 1990（参考）続編「公理的設計」森北出版2004. 7あり
- 026 実際の設計選書「続・実際の設計（機械設計に必要な知識とデータ）」畑村洋太郎編著，実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，1992. 7（参考）改訂新版2017. 3あり
- 027 「コンカレント・エンジニアリング（顧客ニーズ対応の製品開発）」D.E. カーター&B.S. ベーカー共著，メンター・グラフィックス・ジャパン訳，日本能率協会マネジメントセンタ，1992. 11（原著）Concurrent-Engineering: The Product Development Environment for the 1900s, Donald E. Carter & Barbara S. Baker, Addison-Wesley Publishing Company Inc., 1992
- 028 「コンカレント・エンジニアリングのすすめ方（早く、安く、高品質を実現する新技法『CE製品開発』のすべて）」鈴江齡夫著，日本能率協会マネジメントセンタ，1992. 12
- 029 計算力学とCAEシリーズ8「コンカレントエンジニアリング」福田収一著，培風館，1993. 1
- 030 実際の設計選書「機械設計の基礎知識（ばじめて設計をする人へ）」実際の設計研究会監修，米山猛著，日刊工業新聞社，1993. 3（注）第I部 3. 1 機能，P33-40
- 031 「回路設計心得ノート」山崎浩著，日刊工業新聞社，1993. 5
- 032 「実践 コンカレント・エンジニアリング」斎藤実著，工業調査会，1993. 7
- 033 東京大学機械工学3「機械設計（基本原理からマイクロマシンまで）」中島尚正著，東京大学出版会，1993. 10
- 034 「メカアイデア事典（Part I-IV, Index）」日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1993. 12
- 035 「製品開発リードタイムの短縮（TPMとコンカレント・エンジニアリング）」鈴木徳太郎・山品元共編著，日本プラントメンテナンス協会，1994. 3 [TPM: Total Productive / Preventive Maintenance] [日本プラントメンテナンス協会→JIPMソリューションズ⇒日本能率協会コンサルティング]
- 036 「徹底理解のための 機械設計技術入門マニュアル」宗孝著，日刊工業新聞社，1994. 3（注）3. 8 価値分析マニュアル，P226-232
- 037 「続・実践自動化機構図解集（よくわかるメカと制御）」熊谷英樹編著，日刊工業新聞社，1994. 10（参考）新編2010. 2あり
- 038 「工学設計（体系的アプローチ）」G. ポール & W. バイツ共著，ケン・ワラス編，設計工学研究グループ訳，培風館，1995. 2（原著）Engineering Design: A Systematic Approach, Gerhard Pahl & Wolfgang Beitz, Edited by Ken Wallas, The Design Council, 1988英語版（注）2. 1. 3 機能との相互関係，P27-31／3. 設計プロセス，P43-50／5. 概念設計，P65-182（参考）この改題改訂版「エンジニアリングデザイン [第3版]」森北出版2015. 2あり
- 039 「社内標準化便覧 [第3版]」社内標準化便覧編集委員会編，日本規格協会，1995. 2（注）II. 技法編 9. 機能分析，P383-450
- 040 「設計のムダ退治101」伊豫部将三著，日刊工業新聞社，1995. 3
- 041 「編集設計法とその実際（ビルト・ブロック・システムからのアプローチ）」加藤頭剛・塩崎孝一共著，日刊工業新聞社，1995. 8
- 042 「新製品開発のすすめ方：新技術時代の売れる商品づくり」青柳全著，日本実業出版社，1995. 9
- 043 「設計期間1/2化のノウハウ（CADのムダとり、DRのムダとり）」関根憲一著，日刊工業新聞社，1995. 11 [CAD: Computer Aided Design] [DR: Design Review=設計審査]
- 044 日経メカニカル別冊「勘どころ設計技術 [応用編] 原価低減マニュアル」日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1995. 12
- 045 「生産コスト削減のための製品設計（BoothroydのDFMA）」日経メカニカル編，日経B P社発行／日経B P出版センタ発売，1996. 3（原著）Product Design for Manufacturing & Assembly, Geoffrey Boothroyd, Marcel Dekker Inc., 1994（参考）改訂版1998. 7あり

- 046 「設計の凡ミス退治101」伊豫部将三著，日刊工業新聞社，1996. 5
- 047 日経メカニカル別冊「勘どころ設計技術<シリーズI>部品設計の基礎/<シリーズII>機械要素の選択/<シリーズIII>製品設計の基礎」日経メカニカル編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，1996. 9
- 048 「製品アセスメントとリサイクル設計事例（自動車・家電製品・OA機器等）」永田勝也監修，クリーン・ジャパン・センタ編，クリーン・ジャパン・センタ発行/省エネルギーセンター発売，1996. 9
- 049 生産管理 理論と実践14「新製品開発管理」小島敏彦編著，日刊工業新聞社，1996. 10
- 050 実際の設計選書「続々 実際の設計（失敗に学ぶ）」畑村洋太郎編，実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，1996. 10
- 051 「環境にやさしい設計ガイド」EPA編，梅田富雄訳，工業調査会，1996. 11（原著）Design for the Environment (Product Life Cycle Design Guideline Manual), Government Institutes Inc., 1992
- 052 「リサイクル設計の技術（製品解体を容易にする新設計手法、ISO14000対応）」中村茂弘著，日本能率協会マネジメントセンタ，1996. 12（注）第3章 1. 3 VE手法とリサイクル対策，P76-84
- 053 「設計の技術（製造業における源流管理）」長岡一三著，森北出版，1997. 3（注）2. 8 価値分析（VA），P127-130
- 054 「設計の経験則101」伊豫部将三著，日刊工業新聞社，1997. 3
- 055 「ライフサイクルデザインのための組立性・分解性工学」山際康之著，工業調査会，1997. 5
- 056 社会理工学シリーズ「製品開発論」今野浩ほか共編，圓川隆夫ほか共著，日科技連出版社，1997. 6（注）8. 2 VE，P143-146
- 057 「創造的魅力製品の開発（TQMの新たな展開）」納谷嘉信ほか共著，日科技連出版社，1997. 7 [TQM: Total Quality Management]
- 058 日経メカニカル別冊「勘どころ材料技術（18製品の実例に学ぶ材料活用法）」日経メカニカル編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，1997. 7
- 059 「地球に優しい未来技術（分解+組立容易性、パテントMAP解析）」特許・リサイクル対策研究会編，発明協会，1997. 7 [発明協会⇒発明推進協会]
- 060W 「製品開発のコストマネジメント（原価企画からコンカレント・エンジニアリングへ）」谷武幸編著，中央経済社，1997. 11
- 061 日経文庫759「商品開発の実際」高谷和夫著，日本経済新聞社，1998. 1
- 062 「生産コスト削減のための製品設計（BoothroydのDFMA）[改訂版]」日経メカニカル編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，1998. 7
- 063 「実践 機械設計<I. 初級編>（クリエイティブ・エンジニアリングをめざして）」創造的設計研究会編，工業調査会，1998. 12
- 064 「実践 機械設計<II. 中上級編>（クリエイティブ・エンジニアリングをめざして）」創造的設計研究会編，工業調査会，1999. 2
- 065 ブルーボックスB-1256「リサイクルを助ける製品設計入門（分解まで考えたモノづくり）」山際康之著，講談社，1999. 6
- 066 実際の設計選書「設計者に必要な加工の基礎知識（これだけは知っておきたい機械加工の常識）」実際の設計研究会監修，稲城正高・米山猛共著，日刊工業新聞社，1999. 6
- 067W 実際の設計選書「設計のナレッジマネジメント（創造設計原理とTRIZ）」中尾政之・畑村洋太郎・服部和隆共著，日刊工業新聞社，1999. 12
- 068 岩波講座 現代工学の基礎1「設計の方法論<設計系III>」畑村洋太郎著，岩波書店，2000. 5（注）4 創造的設計の方法，P83-138
- 069 「コンカレントエンジニアリングによる設計の改革術」有泉徹著，日刊工業新聞社，2000. 5
- 070 「リサイクル設計入門」機械設計編集部&電子技術編集部共編，日刊工業新聞社，2000. 6
- 071 「リサイクル製品設計ハンドブック」中村茂弘編著，特許・リサイクル対策研究会著，日刊工業新聞社，2000. 10
- 072 「機械創造学」畑村洋太郎・小野耕三・中尾政之共著，丸善出版，2001. 3（注）1. 3 設計の基本過程，P5-8/1. 4 設計の手順，P8-11 [東大機械系3学科の講義内容]

- 073 「開発設計工学（独創的な商品開発のための工学的手法）」中沢弘著，工業調査会，2001. 3
- 074 「自動車プロジェクト開発工学（環境、ITS、運動性能、物流）」藤岡健彦ほか共著，技報堂出版，2001. 5 [東京大学工学部『自動車工学』講義テキスト] [ITS: Intelligent Transport System]
- 075 「図解 企業風土革新（コンカレント・マネジメントで会社が変わる!）」斎藤実著，東洋経済新報社，2001. 8
- 076 「はじめてのロボット創造設計」米田完ほか共著，講談社，2001. 9（参考）改訂第2版2013. 7あり
- 077 「環境適合設計の実際」市川芳明著，オーム社，2001. 11
- 078 「製品開発のための材料力学と強度設計ノウハウ」鯉淵興二・小久保邦雄共著，日刊工業新聞社，2002. 4
- 079 「環境調和型製品のモノづくり戦略と設計」山際康之著，日刊工業新聞社，2002. 4
- 080 「独創的ロボットの研究開発（夢のあるロボットと役に立つロボット）」山藤和男・田中孝之共著，養賢堂，2002. 6
- 081 「製造業のPLM・CPC戦略（生き残りを賭けたビジネスモデルとシステム構築）」山田太郎著，日本プラントメンテナンス協会，2002. 7
- 082 日経文庫 862 「製品開発の知識」延岡健太郎著，日本経済新聞社，2002. 9
- 083 岩波講座 現代工学の基礎 15 「設計の理論<設計系II>」富山哲男著，岩波書店，2002. 12
- 084 「IPD革命（製品開発の変革ソリューション）」廣瀬貞夫監修，日本IBM・IPD研究チーム編，工業調査会，2003. 1 [IPD: Integrated Product Development=統合製品開発]
- 085 「創造的工学設計の方法（新しいモノ創りの原理）」川面恵司・須賀雅夫共編，養賢堂，2003. 3（注）第4章 VEによる製品設計，P52-76
- 086 「製造業のPLMと技術経営[MOT]（売れる製品・サービスをつくるビジネスモデルと情報戦略）」山田太郎著，ネクステック監修，日本プラントメンテナンス協会，2003. 6
- 087 「PLM入門（CRM、SCMに続く新経営手法）」池田良夫監修&編著，近藤敬・木村友則ほか共著，日本能率協会マネジメントセンタ，2003. 6
- 088 「製品ライフサイクルプランニング（ISO/TR14062の実践）」小林英樹著，オーム社，2003. 6
- 089 機械工学基礎コース「創造設計学」中尾政之著，丸善出版，2003. 9
- 090 「サステナブルデザイン（製品開発における環境への配慮）」山際康之著，丸善出版，2004. 4 [サステナブル: Sustainable=持続可能な]
- 091 「公理的設計（複雑なシステムの単純化設計）」Nam Pyo Suh 著，中尾政之・飯野謙次・畑村洋太郎共訳，森北出版，2004. 7（原著）Axiomatic Design, Nam Pyo Suh, Oxford University Press Inc., 2001（参考）「設計の原理」朝倉書店1992. 4の続編
- 092 「BOMによるモジュール化設計・生産入門」新井啓介著，日刊工業新聞社，2005. 5 [BOM: Bill of Materials=部品表]
- 093 「『設計思考展開』入門（設計者の頭の中を整理する）」有泉徹著，日刊工業新聞社，2005. 6
- 094 「実践! PLM戦略（製造業の製品競争力優位の経営手法）」山田太郎著，ネクステック監修，PHP研究所，2005. 6
- 095 速読ビジネスシリーズ「成功するコンカレント・エンジニアリング（すり合わせを重視するプロセス革新のマネジメント）」斎藤実著，日科技連出版社，2005. 8
- 096 「ここが知りたいロボット創造設計」米田完ほか共著，講談社，2005. 9（参考）類似題名2007. 2あり
- 097 「失敗百選（41の原因から未来の失敗を予測する）」中尾政之著，森北出版，2005. 10（参考）続編2010. 12/続々編2016. 2あり
- 098 「実践デジタルものづくり（エレクトロニクス産業におけるPLM）」上野泰生著，白日社，2005. 11
- 099W 「QFD・TRIZ・タグチメソッドによる開発・設計の効率化」今野勤ほか共著，日科技連出版社，2005. 11
- 100 「環境適合設計ツールの活用入門（コアツールLCA、QFDE、TRIZの効果的活用方法とその事例）」坂尾知彦編著，増井慶次郎ほか共著，日科技連出版社，2006. 1

- 101 「実践PLM構築」澤村淑郎監修，PLM研究グループ著，工業調査会，2006. 4
- 102 「失敗から学ぶ機械設計（製造現場で起きた実際例81）」大高敏男著，日刊工業新聞社，2006. 5
- 103 「コスト構造改革のヒント（橋の設計・デザインを楽しく）」寺田和己著，鹿島出版会，2006. 7
- 104 「設計の英語って、どない使うねん！（現場設計者が教える 実務で使う技術英語術）」山田学著，日刊工業新聞社，2006. 8
- 105 「めっちゃ使える！機械便利帳（すぐに調べる設計者の宝物）」山田学著，日刊工業新聞社，2006. 10
- 106W 「開発設計のためのTRIZ入門（発明を生む問題解決の思考法）」笠井肇著，日科技連出版社，2006. 10
- 107 「技術の創造と設計」畑村洋太郎著，岩波書店，2006. 11（注）3. 創造学のすすめ，P127-254/4. 考えを作る，P255-301
- 108 「モノを作らないものづくり（デジタル開発で時間と品質を稼げ）」富士通・日本発ものづくり研究会著，日科技連出版社，2007. 1
- 109 「これならできるロボット創造設計」坪内孝司ほか共著，講談社，2007. 2（参考）類似題名2005. 9あり
- 110 「トヨタ製品開発システム」ジェームズ・M. モーガン&ジェフリー・K. ライカー共著，稲垣公夫訳，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，2007. 2
- 111 「初歩から学ぶ設計手法（多彩なツールにふり回されないための戦略的な設計開発の考え方）」大富浩一著，工業調査会，2007. 5
- 112 「機械工学便覧 デザイン編『β1設計工学』」日本機械学会編，日本機械学会，2007. 5（注）第4章 4. 1. 3 源流管理としてのコストダウンと原価企画，P152-153/4. 1. 4 VE，P153-154
- 113 「図解でわかるPLMシステムの構築と導入」久次昌彦著，日本実業出版社，2007. 11
- 114 「設計の科学 価値づくりの設計」石井浩介・飯野謙次共著，養賢堂，2008. 4（注）第2章 競争に勝つための価値の認識と機能解析，P26-36
- 115 「ついてきなあ！加工知識と設計見積り力で『即戦力』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2008. 5（参考）類似題名2016. 1あり
- 116 「設計検討って、どないすんねん！（現場設計者が教える仮説検証型設計のポイント）」山田学編著，青山繁男ほか共著，日刊工業新聞社，2008. 7
- 117 「エンジニアリングデザイン（製品設計のための考え方）」ナイジェル・クロス著，荒木光彦監修，別府俊幸・高橋栄共訳，培風館，2008. 7（原著）Engineering Design Methods ; Strategies for Product Design (4th Edition) , Nigel Cross, John Wiley & Sons Ltd., 2008（注）Part 2 6. 目標の明確化. P65-76/7. 機能の確立，P77-87/8. 要求の設定，P89-100/9. 特性の決定，P101-112/12. 細部の改良（バリューエンジニアリング），P143-158
- 118 「創造設計の技法（東大創造設計演習に学ぶ設計の奥義）」中尾政之・濱口哲也・草加浩平共著，日科技連出版社，2008. 8 [創造設計=要求機能（目的：コトバ）→設計解（手段：カタチ）]
- 119 「『設計力』こそが品質を決める（デンソー品質を支えるもう一つの力）」寺倉修著，日刊工業新聞社，2009. 1（注）第7章 構想設計の進め方（実施例），P169-191
- 120 「めっちゃ、メカメカ！リンク機構99→∞（機構アイデア発想のネタ帳）」山田学著，日刊工業新聞社，2009. 1
- 121 「製品事故に学ぶフールプルーフ設計」内崎巖著，日刊工業新聞社，2009. 3 [フール・プルーフ：Fool Proof、類似語フェイル・セーフ：Fail Safe もあり]
- 122 角川onlineテーマ21A-99「創造はシステムである（『失敗学』から『創造学』へ）」中尾政之著，角川書店発行/角川グループパブリッシング発売，2009. 5 ※電子版あり
- 123 日経ものづくりの本「『実践』モジュラーデザイン（時代が求めている新しい解）」日野三十四著，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，2009. 7（参考）改訂版2011. 10あり
- 124 「失敗学と創造学（守りから攻めの品質保証へ）」濱口哲也著，日科技連出版社，2009. 10
- 125 「新・実践自動化機構図解集（ものづくりの要素と機械システム）」熊谷英樹編著，日刊工業新聞社，2010. 2
- 126 「設計モジュール化技法（図面を描かずに設計する!）」経営システム研究所編，日刊工業新聞社，2

010. 3

- 127 「図解 形状設計ノウハウハンドブック（デザイン科学が読み解く熟練設計者の知恵と工夫）」松岡由幸著，日刊工業新聞社，2010. 7
- 128 「ついてきなあ！失われた『匠のワザ』で設計トラブルを撲滅する！（設計不良の検出方法と完全対処法）」國井良昌著，日刊工業新聞社，2010. 10
- 129 「実務に役立つ自動機設計ABC（初心者必携!）」熊谷英樹著，日刊工業新聞社，2010. 11
- 130 「デザイン・アイデア200選（設計に役立つヒント集）」新興技術研究所監修，田村均・水野浩共著，日刊工業新聞社，2010. 12
- 131 「続・失敗百選（リコールと事故を防ぐ60のポイント）」中尾政之著，森北出版，2010. 12 ※電子版あり（参考）続々編2016. 2あり

Ⅲ. 2011（平成23）年以降

- 132 「自動化機構300選（制御回路付き）[改訂新版]」新興技術研究所監修，熊谷卓ほか共編，日刊工業新聞社，2011. 3
- 133 「射出成形特性を活かすプラスチック製品設計法」本間精一著，日刊工業新聞社，2011. 7
- 134 「最大実体公差（図面って、どない描くねん！LEVEL3）」山田学著，日刊工業新聞社，2011. 9
- 135 「組立性・分解性設計（資源循環を進めるモノづくり）」山際康之著，講談社，2011. 9
- 136 「機械工学ハンドブック」中島尚正ほか共編，朝倉書店，2011. 10（注）IV-2 1 設計方法論，P625-635
- 137 日経ものづくりの本「『実践』モジュラーデザイン（工場空洞化時代に勝ち進むために）[改訂版]」日野三十四著，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2011. 10
- 138 日経ものづくりの本「設計のムダ取り 公差設計入門（コストと品質のバランスを最適化する）」栗山弘著，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2011. 11
- 139 実際の設計選書「設計者に必要なソフトウェアの知識」実際の設計研究会監修，藤田和彦著，日刊工業新聞社，2011. 11
- 140 「『設計現場力』25のポイント（企画から生産準備までの設計プロセスを改善する）」郷保直著，日刊工業新聞社，2012. 1
- 141 「基礎から学ぶ実用機械の設計」渡辺康博著，オーム社，2012. 2 ※電子版あり
- 142 「現代設計工学」石川晴雄編著，中山良一・井上全人共著，コロナ社，2012. 4（注）2. 3 概念設計（機能設計），P25-32
- 143 「環境配慮型設計（エコが征す商品開発）」畠中伸敏著，日科技連出版社，2012. 4
- 144 「ついてきなあ！加工部品設計の『儲かる見積り力』大作戦」國井良昌著，日刊工業新聞社，2012. 4
- 145 「思いどおりの『樹脂部品設計』ここがポイント！」プロトラプス著，水野操編著，日刊工業新聞社，2012. 5
- 146 「知ってなアカン！機械技術者 モノづくり現場の『構想設計力』入門」古川功ほか共著，日刊工業新聞社，2012. 6
- 147 「『設計現場力』を見える化するレベル診断（25のポイントでレベルがわかる、伸びる）」郷保直編著，日刊工業新聞社，2012. 6
- 148 「製造業の業務改革推進者のためのグローバルPLM（グローバル製造業の課題と変革マネジメント）」三河進著，日刊工業新聞社，2012. 6
- 149 「ヒューマンエラーと機械・システム設計（事例で学ぶ事故防止策）」柚原直弘ほか共編，講談社，2012. 8
- 150 新コロナシリーズ58「製品開発の心と技（設計者をめざす若者へ）」安達瑛二著，コロナ社，2012. 12（注）付録 思い出の「トヨタ主査制度」，P150-163
- 151 「めざせ！最適設計 実践・公差解析」鈴木真人・萩原あづみ共著，日刊工業新聞社，2013. 1
- 152 「設計センスを磨く空間認識力『モチアゲ』（『勘』と『論理力』と『ポンチ絵スキル』をアップ!）」山田学著，日刊工業新聞社，2013. 4
- 153 「分解デザイン工学：バラバラにすることで価値を生む」山際康之著，東京大学出版会，2013. 4

- 154 「ついてきなあ！品質とコストを両立させる『超低コスト化設計法』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2013. 6
- 155 「はじめてのロボット創造設計 [改訂第2版]」米田完ほか共著，講談社，2013. 7
- 156 「図解入門 現場で役立つ機械設計の基本と仕組み」大高敏男著，秀和システム，2013. 8
- 157 「間違いだらけの設計レビュー（なぜ重大な問題を見逃すのか？）」森崎修司著，日経SYSTEMS編，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2013. 9（参考）改訂版2015. 9あり
- 158 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい機械設計の本」Net P. E. Jp編著，横田川昌浩ほか共著，日刊工業新聞社，2013. 9（参考）類似題名2015. 11あり
- 159 「自動車設計革命（TPPに勝つもの作りの原点）」長谷川洋三著，中央公論新社，2013. 11
[TPP：Trans-Pacific Economic Partnership Agreement＝環太平洋経済連携協定]
- 160 「エンジニアリングデザイン入門（技術の創造と倫理の基礎）」柴田尚志監修，林和伸ほか共著，理工図書，2013. 11（注）2. 1 開発のプロセス，P23-25/2. 7 仕様を決める，P47-52/2. 8 構想する，P52-57/4. 6 価値向上手法（VA・VE・VI），P133-134
- 161 「知ってなアカン！機械技術者 設計検討のための新常識」佐野義幸ほか共著，日刊工業新聞社，2013. 12（注）3-3 VEの手法でコストダウン，P130-138
- 162 「メカニズムの事典＜機械の素＞ [改題縮刷版]」伊藤茂編，オーム社，2013. 12 [メカニズムと機械の要素800例]（参考）理工学社1983. 5の改題縮刷版
- 163 「ついてきなあ！悪い『設計変更』と良い『設計変更』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2014. 3
- 164 「創造デザイン工学」田浦俊春著，東京大学出版会，2014. 6（注）第Ⅲ部 概念設計の理論と方法論，P115-141
- 165 「成功する新商品開発プロジェクトのすすめ方」和田憲一郎著，同文館出版，2014. 6
- 166W 「原価低減と性能改善を両立する製品開発」泉丙完著，ブイツーソリューション，2014. 6
- 167 「知ってなアカン！機械技術者 そんな設計じゃ罰せられますよ！」古川功か共著，日刊工業新聞社，2014. 7
- 168 「リーン製品開発方式（トヨタが実践する価値創造の確かな進め方）」アレン・ウォード&デュワード・ソベック著，稲垣公夫訳，日刊工業新聞社，2014. 9
- 169 「ドキュメント トヨタの製品開発（トヨタ主査制度の戦略、開発、制覇の記録）」安達瑛二著，同文館出版，2014. 9
- 170 「製品開発の『見える化』99」北山厚ほか共著，日本能率協会マネジメントセンタ，2014. 10
- 171 「ついてきなあ！やさしい研修編『機械設計の企画書と設計書と構想設計』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2014. 11
- 172 実際の設計選書「実際の設計（機械設計の考え方と方法） [改訂新版]」畑村洋太郎編著，実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，2014. 12
- 173 「エンジニアリングデザイン（工学設計の体系的アプローチ） [第3版]」G. パール & W. バイツほか共著，ケン・ワラスほか英訳編，金田徹訳者代表，森北出版，2015. 2（原著）Engineering Design：A Systematic Approach（Third Edition），G Pahl & W Beits & J Feldhusen & K H Grote，Edited by K W allas & L Blessing，Springer London，2007英語版（注）第4章 製品開発プロセス，P133-152/第5章 設計課題の明確化，P153-166/第6章 概念設計，P167-234/第7章 実体設計，P235-449（参考）「工学設計」培風館1995. 2の改題改訂版
- 174 実際の設計選書「設計者に必要なメカトロニクスの基礎知識」実際の設計研究会監修，松本潔著，日刊工業新聞社，2015. 2
- 175W 「製品開発段階からの部品共通化によるコスト低減プロセス」塩見浩介著，同友館，2015. 2
- 176 「手戻りのない先行開発（QFDの限界を超える新しい製品実現化手法）」加藤芳章著，日刊工業新聞社，2015. 5（注）第2章 2-1 7つの着眼点で機能・属性分析を行う，P42-49
- 177 「箱の設計（自由自在に『箱』を生み出す基本原理と技術）」ポール・ジャクソン著，牧尾晴喜訳，ビー・エヌ・エヌ新社，2015. 7（原著）Structural Packaging：Design Your Own Boxes and 3-D Forms，Paul Jackson，Laurence King Publishing Ltd.，2012
- 178 「間違いだらけの設計レビュー（なぜ重大な問題を見逃すのか？） [改訂版]」森崎修司著，日経SYSTEMS編，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2015. 9※電子版あり
- 179 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい『コンカレント・エンジニアリング』の本」原嶋茂著，

日刊工業新聞社， 2015. 11

180 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしい機械材料の本」Net P. E. Jp編著，横田川昌浩ほか共著，日刊工業新聞社，2015. 11（参考）類似題名2013. 9あり

181 「初級設計者のための実例から学ぶ プラスチック製品開発入門」大塚正彦著，日刊工業新聞社，2015. 12

182 「ついてきなあ！組立知識と設計見積り力で『設計職人』」國井良昌著，日刊工業新聞社，2016. 1（参考）類似題名2008. 5あり

183 「実務に役立つ機械設計の考え方・進め方」鈴木剛志著，オーム社，2016. 1※電子版あり（注）3章 機械設計の手順，P91-133

184 「続々・失敗百選（『違和感』を拾えば重大事故は防げる 原発事故と『まさか』の失敗学）」中尾政之著，森北出版，2016. 2※電子版あり

185 「新人製品設計者と学ぶ プラスチック製品設計の基礎」伊藤英樹著，日刊工業新聞社，2016. 3

186 「設計の科学 創造設計思考法（失敗知識のウェブ脳モデル）」飯野謙次著，普賢堂，2016. 6

187 「製品開発と市場創造：技術の社会的形成アプローチによる探究」宮尾学著，白桃書房，2016. 6

188 「よくわかる『設計手法』活用入門」大富浩一著，日刊工業新聞社，2016. 7

189 「ケーススタディで理解する公差設計入門（設計者は図面で語れ!）」プラーナー編，栗山晃治・木下悟志共著，日刊工業新聞社，2016. 8

190 「設計ミス防止のための検図の着眼点と進め方（ベテランの技を盗め!）」岡村大著，日刊工業新聞社，2016. 8

191 「製品開発は『機能』にばらして考えろ（設計者が頭を抱える『7つの設計問題』解決法）」オリンパス・ECM推進部監修，緒方隆司著，日刊工業新聞社，2017. 2

192 実際の設計選書「続・実際の設計（機械設計に必要な知識とデータ）[改訂新版]」畑村洋太郎編著，実際の設計研究会著，日刊工業新聞社，2017. 3

193 「図解 機械設計手ほどき帖」渡辺康博著，日刊工業新聞社，2017. 4（注）第2章 設計構想の立て方，P23-54

194 「実践！エンジニアリング・チェーン・マネジメント（IoTで設計開発革新）」日野三十四著，日刊工業新聞社，2017. 8 [IoT: Internet of Things]

195 「機械設計 こここまでわかれば『一人前』」鈴木良之編著，日刊工業新聞社，2018. 1（注）Ⅲ. 構想設計，P75-88

196 「『設計力』こそがダントツ製品を生み出す（やみくも先行開発を打破する7つの設計力）」寺倉修著，日刊工業新聞社，2018. 2

197 「見てすぐわかる 板金部品の最適設計法」小渡邦昭著，日刊工業新聞社，2018. 3

198 「設計者のためのコスト見積もり力養成講座」間館正義著，日刊工業新聞社，2018. 3

199 「エンジニアリング・デザインの教科書」別府俊幸著，平凡社，2018. 4（注）6. 3 VEバリューエンジニアリング，P168-181

D. ユニバーサルデザイン (UD) / 感性工学 (KANSEI Engineering)

／人間中心設計 (HCD) ・ユーザビリティ・UXデザイン

[注1] ユニバーサルデザイン (UD: Universal Design) とは、誰れでも公平に利用できるように、施設・サービス・製品・情報を設計すること、アクセシブル・デザイン: Accessible Design / アダプタブル・デザイン: Adaptable Design と呼ぶ。「バリアフリー (Barrier Free)」の用語もある。

[注2] HCD: Human Centered Design = 人間中心設計、UCD: User Centered Design = ユーザーセンタード・デザインまたはユーザ優先設計とも呼ぶ。

[注3] ユーザビリティ: Usability = 使用性または使いやすさ・使い勝手の良さ

[注4] UXデザイン: User Experience Design = ユーザエクスペリエンス (ユーザ経験 / ユーザ体験) ・デザイン、UIデザイン: User Interface Design = ユーザインターフェース・デザインとも呼ぶ。

I. 1990 (平成2) 年以前

001 サイエンス・らいぶらり「感性工学 (感性をデザインに活かすテクノロジー)」長町三生著，海文堂出

版, 1989. 11

002 新曜社認知科学選書「誰のためのデザイン? (認知科学者のデザイン原論)」ドナルド・A. ノーマン著, 野島久雄訳, 新曜社, 1990. 1 (原著) The Psychology (Design) of Everyday Things, Donald A. Norman, Basic Books Inc., 1988 (参考) 増補・改訂版2015. 4あり

003 「感性工学 えもとろじの思考 (ハイテク感性時代のビジネス発想)」広沢曄夫著, につかん書房発行/日刊工業新聞社発売, 1990. 10

II. 1991 (平成3) 年~2010 (平成22) 年

004 「快適科学 (人間側からみた商品づくりへ)」長町三生著, 海文堂出版, 1992. 3

005 「感性商品学 (感性工学の基礎と応用)」長町三生著, 海文堂出版, 1993. 9

006 「感性工学のおはなし」長町三生著, 日本規格協会, 1995. 7

007 「ユーザインタフェースデザインの実践 (応用人間工学の視点に基づく)」山岡俊樹・岡田明共著, 海文堂出版, 1999. 3

008 トップラン情報デザイン選書1「ユーザビリティ エンジニアリング原論 (ユーザーのためのインターフェースデザイン)」ヤコブ・ニールセン著, 篠原稔和監訳, 三好かおる訳, トップラン, 1999. 6 (参考) 第2版・東京電機大学出版局2002. 7あり

009 「ユーザ工学入門 (使い勝手を考える・ISO13407への具体的なアプローチ)」黒須正明ほか共に著, 共立出版, 1999. 9 [ISO13407 (1999) ⇒ISO9241-210 (2010)]

010 「ユーザー優先のデザイン・設計 (新しい商品開発の考え方)」山岡俊樹編著, 共立出版, 2000. 10

011 「ユニバーサルデザイン (超高齢社会に向けたものづくり)」ユニバーサルデザイン研究会編, 日本工業出版, 2001. 3 (参考) 改訂版2002. 8/改訂新版2004. 11あり

012 「建築とユニバーサルデザイン」古瀬敏著, オーム社, 2001. 6

013 「こんなデザインが使いやすさを生む (商品開発のためのユーザビリティ評価)」三菱電機デザイン研究所編, 工業調査会, 2001. 11

014 「市民工学としてのユニバーサルデザイン (土木におけるバリアフリー最前線)」吉川勝秀編著, 理工図書, 2001. 11

015 「ISO13407がわかる本」黒須正明ほか共著, オーム社, 2001. 12

016 「ユニバーサルデザイン解体新書」北岡敏信著, 明石書店, 2002. 3

017 「ユニバーサルデザインの考え方 (建築・都市・プロダクトデザイン)」梶本久夫監修, 丸善出版, 2002. 5

018 「ユニバーサルデザインの教科書」中川聡監修, 日経デザイン編, 日経BP社発行/日経BP出版センター発売, 2002. 5 (参考) 増補改訂版2005. 10/第3版2015. 6あり

019 情報デザインシリーズ「ユーザビリティ エンジニアリング原論 (ユーザーのためのインターフェースデザイン) [第2版]」ヤコブ・ニールセン著, 篠原稔和監訳, 三好かおる訳, 東京電機大学出版局, 2002. 7

020 「ユニバーサルデザイン (超高齢社会に向けたものづくり) [改訂版]」ユニバーサルデザイン研究会編, 日本工業出版, 2002. 8 (参考) 改訂新版2004. 11あり

021 「『誰でも社会』へ: デジタル時代のユニバーサルデザイン」関根千佳著, 岩波書店, 2002. 11

022 「情報アクセシビリティとユニバーサルデザイン (誰もが情報にアクセスできる社会をめざして)」C&C振興財団編, アクセシビリティ研究会著, アスキー, 2003. 3

023 「ユーザビリティ テスティング (ユーザ中心のものづくりに向けて)」黒須正明編著, 共立出版, 2003. 5

024 「ユニバーサルデザイン実践ガイドライン」日本人間工学会編, 共立出版, 2003. 6

025 「ヒューマンデザインテクノロジー入門 (新しい論理的デザイン・製品開発方法)」山岡俊樹著, 森北出版, 2003. 6

026 認知科学の探究「『使いやすさ』の認知科学 (人とモノとの相互作用を考える)」原田悦子編著, 共立出版, 2003. 7

027 「ユニバーサルデザインのまちづくり (みんなに優しいまちを目指して)」樗木武著, 森北出版, 2004. 3

- 028 「使いやすさのためのデザイン（ユーザーセンタード・デザイン）」日本IBM&山崎和彦ほか共編著，丸善出版，2004. 5
- 029 「エモーショナル・デザイン（微笑を誘うモノたちのために）」ドナルド・A. ノーマン著，岡本明ほか共訳，新曜社，2004. 10（原著）Emotional Design: Why We Love(or Hate) of Everyday Things, Donald A. Norman, Basic Books Inc., 2004
- 030 「道路の計画とデザイン（ユニバーサルデザインの道づくり）」樗木武・梶田佳孝共著，共立出版，2004. 10
- 031 「ユニバーサルデザイン（超高齢社会に向けたものづくり）[改訂新版]」ユニバーサルデザイン研究会編，日本工業出版，2004. 11
- 032 「新・ユニバーサルデザイン（ユーザビリティ・アクセシビリティ中心・ものづくりマニュアル）」ユニバーサルデザイン研究会編，日本工業出版，2005. 3
- 033 「ユニバーサルデザイン実践マニュアル（UD教科書2）」中川聰監修，日経デザイン編著，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，2005. 3
- 034 「情報アクセシビリティ（やさしい情報社会に向けて）」C&C振興財団監修，山田肇編著，榊原直樹ほか共著，NTT出版，2005. 3
- 035 「ヒューマンファクター概論（人間と機械の調和を目指して）」岡田有策著，慶応義塾大学出版会，2005. 5
- 036 「ヒットを生む経験価値創造（感性を揺さぶるものづくり）」長沢伸也編著，日科技連出版社，2005. 5
- 037 感性工学シリーズ「商品開発と感性」長町三生編，石原茂和ほか共著，海文堂出版，2005. 5
- 038 感性工学シリーズ「デザインと感性」井上勝雄編，広川美津雄ほか共著，海文堂出版，2005. 7
- 039 「ユニバーサルデザインの教科書[増補改訂版]」中川聰監修，日経デザイン編，日経BP社発行/日経BP出版センタ発売，2005. 10（参考）第3版2015. 6あり
- 040 「ユーザビリティ エンジニアリング（ユーザ調査とユーザビリティ評価実践テクニック）」樽本徹也著，オーム社，2005. 10（参考）第2版2014. 2あり
- 041 「エルゴ・エンジニアリング（ニュー・ヒューマン・インターフェース思考）」山本栄著，培風館，2006. 2
- 042 「HCDハンドブック」日本機械学会編，福田収一責任編集，丸善出版，2006. 7
- 043 「Webビジネスのためのユニバーサルデザイン成功の法則65」濱川智著，翔泳社，2006. 12
- 044 やさしいシリーズ19「より多くの人を使いやすい アクセシブルデザイン入門」星川安之・佐川賢共著，日本規格協会，2007. 2
- 045 「経験価値ものづくり（ブランド価値とヒットを生む『こと』づくり）」長沢伸也編著，藤原亨・山本典弘共著，日科技連出版社，2007. 2
- 046 「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準及び同解説[平成18年版]」公共建築協会編，国土交通省大臣官房官庁営繕部監修，公共建築協会発行/建築出版センタ発売，2007. 3
- 047 「感性価値創造イニシアティブ（第四の価値軸の提案 感性☆21報告書）」経済産業省編，経済産業調査会，2007. 6
- 048 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしいユニバーサルデザインの本」宮入賢一郎ほか共著，日本ユニバーサルデザイン研究機構監修，日刊工業新聞社，2007. 7（参考）第2版2014. 12あり
- 049 「中部国際空港のユニバーサルデザイン（プロセスからデザインの検証まで）」谷口元ほか共編著，中部国際空港監修，鹿島出版会，2007. 7
- 050 「ユニバーサルデザインの仕組みをつくる（スパイラルアップを実現するために）」川内美彦著，学芸出版社，2007. 8
- 051 「感性と情報（新しいモノづくりのために）」長島知正ほか共著，森北出版，2007. 8
- 052 「ユーザビリティ ハンドブック」ユーザビリティハンドブック編集委員会編，共立出版，2007. 8
- 053 「道路の移動等円滑化整備ガイドライン（道路のユニバーサルデザインを目指して）[改訂版]」国土技術研究センタ編，国土技術研究センタ発行/大成出版社発売，2008. 2（参考）増補改訂版2011. 8あり
- 054 「入門Webデザインユーザビリティ（使いやすさで成果を上げるプロのワザ）」池谷義紀著，ソフトバンククリエイティブ，2008. 2

- 055 「人間工学とユニバーサルデザイン（ユーザビリティ・アクセシビリティ中心・ものづくりマニュアル）」ユニバーサルデザイン研究会編，日本工業出版，2008. 3
- 056 「人間工学とユニバーサルデザイン新潮流（実践ヒューマンセンタードesignのものづくりマニュアル）」ユニバーサルデザイン研究会編，日本工業出版，2008. 3（参考）改訂版2013. 3／増補版2017. 1あり
- 057 「ヒット商品を生む観察工学（これからのSE、開発・企画者へ）」山岡俊樹編著，共立出版，2008. 6 [SE: System Engineer]
- 058 「都市・建築の感性デザイン工学」日本建築学会編，朝倉書店，2008. 9
- 059 「未来のモノのデザイン（ロボット時代のデザイン原論）」ドナルド・A. ノーマン著，安村通晃ほか共訳，新曜社，2008. 10
- 060 「ユニバーサルデザインがわかる事典（文房具から公共施設・情報まで）」どりむ社編，柏原士郎監修，PHP研究所，2009. 5
- 061 「メディア・ユニバーサルデザイン（みんなに優しい情報制作のガイドライン）」全日本印刷工業組合連合会著，メディア・ユニバーサルデザイン協会監修，全日本印刷工業組合連合会発行／印刷学会出版部発売，2009. 9
- 062 「ユニバーサルデザインのちから（社会人のためのUD入門）」関根千佳著，生産性出版，2010. 1 ※電子版あり
- 063 「UIデザインの基礎知識（プログラム設計からアプリケーションデザインまで）」古賀直樹著，技術評論社，2010. 5
- 064 「情報デザインの教室（仕事を変える、社会を変える、これからのデザインアプローチと手法）」情報デザインフォーラム編，丸善出版，2010. 8
- 065 「数理的感性工学の基礎（感性商品開発へのアプローチ）」長沢伸也ほか共編，海文堂出版，2010. 9
- 066 「ソフトウェア ユーザーエクスペリエンス設計（使いやすい業務システムのUI設計手法）」神原典子著，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2010. 11

Ⅲ. 2011（平成23）年以降

- 067 「道路の移動等円滑化整備ガイドライン（道路のユニバーサルデザインを目指して）[増補改訂版]」国土技術研究センタ編，国土技術研究センタ発行／大成出版社発売，2011. 8
- 068 「複雑さと共に暮らす（デザインの挑戦）」ドナルド・A. ノーマン著，伊賀聡一郎ほか共訳，新曜社，2011. 8
- 069 「イラストで学ぶ ヒューマンインターフェース」北原義典著，講談社，2011. 9 ※電子版あり
- 070 「バリアフリーからユニバーサルデザイン社会へ」盛山正仁著，創英社発行／三省堂書店発売，2011. 10
- 071 「UXデザイン入門（ソフトウェア&サービスのユーザーエクスペリエンスを実現するプロセスと手法）」川西裕幸ほか共著，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2012. 1 ※電子版あり
- 072 「アジャイル・ユーザビリティ（ユーザエクスペリエンスのためのDIYテスト）」樽本徹也著，オーム社，2012. 2 ※電子版あり
- 073 「製造業のための感動体験 [エクスペリエンス]（顧客の心をつかんで売れるモノづくり）」池田和寛 & グレグ・ジアルフォルテ共著，メディオクリタスD4Cチーム訳，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2012. 5
- 074 「エクスペリエンス・ビジョン [Experience Vision]（ユーザーを見つめてうれしい体験を企画するビジョン提案型デザイン手法）」山崎和彦ほか共著，丸善出版，2012. 7（注）1. 2 人間中心設計，P 6-11
- 075 「建築・都市のユニバーサルデザイン：その考え方と実践手法」田中直人著，彰国社，2012. 11
- 076 「人と機械の共生のデザイン：『人間中心の自動化』を探る」稲垣敏之著，森北出版，2012. 12
- 077 「人間工学とユニバーサルデザイン新潮流（実践ヒューマンセンタードesignのものづくりマニュアル）[改訂版]」ユニバーサルデザイン研究会編，日本工業出版，2013. 3（参考）増補版2017. 1あり
- 078 「ユニバーサルデザインとバリアフリーの図鑑」徳田克己監修，ポプラ社，2013. 4

- 079 「心を動かすデザインの秘密（認知心理学から見る新しいデザイン学）」荷方邦夫著，実務教育出版，2013. 4
- 080 HCDライブラリー第1巻「人間中心設計の基礎」黒須正明ほか共編著，近代科学社，2013. 5 ※電子版あり
- 081 HCDライブラリー第2巻「人間中心設計の海外事情」キャロル・ライヒ&ジャニス・ジェームス共著，HCDライブラリー委員会訳，近代科学社，2013. 7
- 082 「売れる商品は感性工学がある（人の意思決定の9割は『気分』）」椎塚久雄著，ベストセラーズ，2013. 8
- 083 「デザイナー・エンジニアのためのUX・画面インターフェースデザイン入門」山岡俊樹編著，前川正美ほか共著，日刊工業新聞社，2013. 9
- 084 「ほんとに使える『ユーザビリティ』（より良いデザインへのシンプルなアプローチ）」エリック・ライス著，浅野紀予訳，ビー・エヌ・エヌ新社，2013. 10
- 085 「ユーザーイノベーション（消費者から始まるものづくりの未来）」小川進著，東洋経済新報社，2013. 10 ※電子版あり
- 086 「感性工学ハンドブック（感性をきわめる七つ道具）」椎塚久雄編，朝倉書店，2013. 11
- 087 「UIデザインの教科書（マルチデバイス時代のサイト設計 アーキテクチャからUXまで）」原田秀司著，翔泳社，2013. 11 ※電子版あり（参考）類似題名・日経BP社2015. 12あり
- 088 「メンタルモデル（ユーザーへの共感から生まれるUXデザイン戦略）」インディ・ヤング著，田村大監訳，酒井洋平ほか共訳，丸善出版，2014. 1
- 089 「ユーザビリティ エンジニアリング（ユーザエクスペリエンスのための調査、設計、評価手法）[第2版]」樽本徹也著，オーム社，2014. 2 ※電子版あり
- 090 放送大学教材「情報社会のユニバーサルデザイン」広瀬洋子・関根千佳共著，放送大学教育振興会発行／NHK出版発売，2014. 3
- 091 「デザイン人間工学（魅力ある製品・UX・サービス構築のために）」山岡俊樹著，共立出版，2014. 3
- 092 「ウェブ ユニバーサルデザイン」NTTサービスエボリューション研究所編著，篠原弘道監修，近代科学社，2014. 6 ※電子版あり
- 093 「感性イノベーション（感性をビジネスに活かす）」長町三生著，海文堂出版，2014. 6
- 094 HCDライブラリー第3巻「人間中心設計の国内事情」HCDライブラリー委員会著，黒須正明ほか共編，近代科学社，2014. 7 ※電子版あり
- 095 今日からモノ知りシリーズ「トコトンやさしいユニバーサルデザインの本[第2版]」実利用者研究機構&宮入賢一郎共著，日刊工業新聞社，2014. 12
- 096 「商品開発のための心理学」熊田孝恒編著，勁草書房，2015. 1
- 097 「人と『機械』をつなぐデザイン」佐倉統編，東京大学出版会，2015. 2
- 098 「UIデザインの心理学（わかりやすさ・使いやすさの法則）」ジェフ・ジョンソン著，武舎広幸・武舎み共訳，インプレス，2015. 3 ※電子版あり
- 099 「誰のためのデザイン？（認知科学者のデザイン原論）[増補・改訂版]」ドナルド・A. ノーマン著，岡本明ほか共訳，新曜社，2015. 4（原著）The Design of Everyday Things (Revised & Expanded Edition), Donald A. Norman, Basic Books Inc., 2013（注）第1章 人間中心デザイン，P10-13／第6章 人間中心デザインのプロセス，P309-310
- 100 「ユニバーサルデザインの教科書[第3版]」中川聰監修，日経デザイン編，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2015. 6 ※電子版あり
- 101 「住環境のバリアフリーユニバーサルデザイン」野村歡編，植田瑞昌ほか共著，彰国社，2015. 9
- 102 「構造と感性（構造デザインの原理と手法）」川口衛著，鹿島出版会，2015. 9
- 103 岩波ブックレットN0.939「アクセシブルデザインの発想（不便さから生まれる『便利製品』）」星川安之著，岩波書店，2015. 11
- 104 「SEのためのUIデザインの教科書」篠原稔和・上野学共著，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2015. 12 ※電子版あり（参考）類似題名・翔泳社2013. 11あり
- 105 「初めて学ぶ人間工学」岡田明編著，八木佳子ほか共著，理工図書，2016. 1
- 106 HCDライブラリー第0巻「人間中心設計入門」山崎和比ほか共編著，近代科学社，2016. 3 ※電

子版あり

- 107 「UXデザインの教科書」安藤昌也著，丸善出版，2016. 5
- 108 「だから、そのデザインはダメなんだ。（WebサイトのUI設計・情報デザイン 良い・悪いが比べてかる）」香西睦著，エムディーエヌ・コーポレーション発行／インプレス発売，2016. 5 ※電子版あり
- 109 「UX戦略（ユーザー体験から考えるプロダクト作り）」ジェイミー・レヴィ著，安藤幸央監訳，長尾高弘訳，オライリー・ジャパン発行／オーム社発売，2016. 5
- 110 「UXデザインのやさしい教本（UXデザインの仕事の実際、学習のヒントとアドバイス）」チャド・カマラ&ユジア・ジャオ共著，保坂浩紀監修，林れい訳，エムディーエヌ・コーポレーション発行／インプレス発売，2016. 7 ※電子版あり
- 111 「Web制作者のためのUXデザインをはじめの本（ユーザビリティ評価からカスタマージャーニーマップまで）」玉飼真一ほか共著，翔泳社，2016. 11 ※電子版あり
- 112 「人間工学とユニバーサルデザイン新潮流（実践ヒューマンセンタードデザインのものづくりマニュアル）[増補版]」ユニバーサルデザイン研究会編，日本工業出版，2017. 1
- 113 「ユニバーサルデザイン：発見！体験！工夫がいっぱい！」川内美彦監修，学研プラス，2017. 3
- 114 「よくわかる デライト設計入門（ワクワクするような製品は天才がいなくとも作れる）」大富浩一著，日刊工業新聞社，2017. 4 [デライト：Delight=使い手の琴線に触れる魅力品質のこと]
- 115 「UX [User Experience] 虎の巻（ユーザー満足度を向上する設計開発テクニック）」坂本大輔著，日刊工業新聞社，2017. 9
- 116 「感性ポテンシャル思考法（0からのビジネス・イノベーション）」村田智明著，生産性出版，2017. 12
- 117 SCC Books B-405「ヒューマンインタフェース論」蒲田拓也著，エスシーシー，2018. 3

E. 商品企画 (Product Planning) ・ 建築企画 / ロングセラー・ヒット商品

I. 1990 (平成2) 年以前

- 001 「商品開発のための消費者研究」小嶋外弘・梅澤伸嘉・佐藤隆三共著，日科技連出版社，1972. 1
- 002 「消費者ニーズをどうとらえるか（間違いのない商品開発）」小嶋外弘・梅澤伸嘉共著，ダイヤモンド社，1977. 1
- 003 「ヒット商品企画法（生活感覚を盗みとれ）」小嶋庸晴著，ダイヤモンド社，1979. 9
- 004 「これだけは知っておきたい 建築の企画と設計の知識」嶋富士夫著，鹿島出版会，1981. 4
- 005 新建築学体系 22「建築企画」新建築学体系編集委員会編，彰国社，1982. 11
- 006 「飽和時代のヒット商品開発法（消費者満足度をどうとらえ、どう商品化するか）」大里壽著，ダイヤモンド社，1984. 4
- 007 「消費者からみた耐久消費財の製品評価」秋庭雅夫ほか共著，日刊工業新聞社，1986. 3
- 008 「ヒット商品開発の決め手」トリガー編集部編，日刊工業新聞社，1987. 10
- 009 「商品コンセプト開発マニュアル」梅澤伸嘉著，日本能率協会総合研究所・東京生活研究室編，日本能率協会総合研究所，1988. 3
- 010 「建築企画のシステムアプローチ」酒井宏之&大成建設・事業化戦略プロジェクト共著，井上書院，1989. 3
- 011 アポロシリーズ「ヒット商品の開発と販促の極意（製品開発の仕掛人が発想術の全データを公開!）」山田正吾著，山海堂，1989. 11
- 012 「女性流ヒット商品開発法（女性の感性が成熟市場をリードする）」フェミニン・マーケティング研究会著，産業能率大学出版部，1989. 11
- 013 「建築企画の発想法」ゆう建築設計事務所ほか共著，学芸出版社，1989. 12 ※電子版あり
- 014 「実践 建築の企画営業」秋山英樹著，清文社，1989. 12（参考）最新版1995. 8 / 全訂版2016. 1あり
- 015 「ズバリ！ヒットの着眼点（ヒット商品24にみる、売れる理由）」徳丸壮也著，世界文化社，1990. 7
- 016 「製品企画とデザイン（その理論と開発事例）」森本真佐男・森典彦共編著，日刊工業新聞社，1990. 7

017 「建築企画論（建築のソフトテクノロジー）」日本建築学会編，技報堂出版，1990. 10

II. 1991（平成3）年～2010（平成22）年

- 018 「ヒット商品の法則（独創的新製品を生む研究開発マネジメント）」日本機械学会編，三田出版会，1991. 1
- 019 「コンセプト・メイクの技術（『いま』をとらえ『明日』に切り込む）」平林千春著，実務教育出版，1991. 4（参考）類似題名1999. 11あり
- 020 「建築企画の実践法」ゆう建築設計事務所&都市建築経営研究所共著，学芸出版社，1992. 3
（注）4. 2 設計期間におけるコスト管理の手法＝VEの導入，P204-211
- 021 「ヒット商品の発想（新製品はいかに創られるか）」日本機械学会編，三田出版会，1992. 10
- 022 「不動産・建築企画提案書作成のテクニック」秋山英樹著，清文社，1992. 10
- 023 「魅力工学（魅力的な空間・商品を生み出す技術）」魅力工学研究フォーラム編，海文堂出版，1992. 12
- 024 「建築企画のフロンティア（企画の手順から実践ノウハウまで）」田村誠邦著，建設物価調査会，1993. 1
- 025 「ヒット商品のコンセプト創り（『無』から『有』を生み出す方法）」伊藤利朗編著，につかん書房発行／日刊工業新聞社発売，1993. 4
- 026 「ソフト時代の建築企画（建築が変わる？建築企画が変える!）」日本建築学会編，海文堂出版，1994. 6
- 027 「価格・流通激変期のヒット商品学」田中理英著，産業能率大学出版部，1994. 9
- 028 「コンセプト・エンジニアリング革命（低価格時代の企業戦略）」唐津一著，PHP研究所，1994. 12
- 029 「建築企画の実践（建築プロフェッションの新たな展開）」建築企画の実践編集委員会編，彰国社，1995. 3
- 030 「消費者ニーズの法則（消費者が買う理由、買わない理由）」梅澤伸嘉著，ダイヤモンド社，1995. 4
- 031 「建築企画の実際（建築主が知っておきたい95のポイント）」永森一夫著，経済調査会，1995. 6
- 032 「実践 建築の企画営業 [最新版]」秋山英樹著，清文社，1995. 8（参考）全訂版2016. 1あり
- 033 「商品企画七つ道具（新商品開発のためのツール集）」飯塚悦功監修，神田範明編著，日科技連出版社，1995. 11
- 034 「図解 商品開発大全（大型ヒット商品、定番商品を創り出す方法）」小久保厚郎・黒沢磨紀共著，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，1996. 3
- 035 「ヒット商品企画のたて方・開発の仕方（ベネフィットで差をつける方法）」檜山純一著，中央経済社，1996. 4 [ベネフィット：Benefit＝便益・使用効果]
- 036 「プロダクト・イノベーション（競争優位をつくる戦略的商品企画）」岩間元著，ダイヤモンド社，1996. 6
- 037 「実践 ヒット商品・有望マーケットを発掘する」三宅隆之著，同友館，1996. 8
- 038 「日本企業の商品開発」織畑基一著，白桃書房，1996. 11（注）第1部 第3章 商品コンセプトの創造，P67-89
- 039 「ヒット商品を生み、ベストセラー・ロングセラーにするための条件」西田弘著，産業能率大学出版部，1997. 1
- 040 「共創時代の商品企画ガイド（ヒットを生む商品企画7つ道具）」神田範明・樋口正美共著，産業能率大学出版部，1998. 7
- 041 「実践 不動産事業の企画提案」秋山英樹著，清文社，1998. 10
- 042 「実践 コンセプト・メイクの技術（成熟時代の企画を成功に導くノウハウ）」平林千春著，実務教育出版，1999. 11（参考）類似題名1991. 4あり
- 043 「建築プロデューサー」浜野安宏著，鹿島出版会，2000. 4
- 044 商品企画七つ道具実践シリーズ第1巻「ヒットを生む商品企画七つ道具<はやわかり編>」神田範明

- 著, 日科技連出版社, 2000. 6
- 045 商品企画七つ道具実践シリーズ第2巻「ヒットを生む商品企画七つ道具<よくわかる編>」神田範明編著, 大藤正ほか共著, 日科技連出版社, 2000. 6
- 046 商品企画七つ道具実践シリーズ第3巻「ヒットを生む商品企画七つ道具<すぐできる編>」神田範明編著, 大藤正ほか共著, 日科技連出版社, 2000. 11
- 047 「『定番・ロングセラー商品』つくり方・育て方」たかはたけいこ著, 双葉社, 2000. 10
- 048 「建築企画事典」日本建築学会編, 彰国社, 2000. 11
- 049 「開発者列伝(あのヒット商品はこうして生まれた)」日経エレクトロニクス編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 2001. 4
- 050 「魅力工学の実践(ヒット商品を生み出すアプローチ)」朝野熙彦編, 海文堂出版, 2001. 8
- 051 「超ロングセラー大図鑑(花王石鹸からカップヌードルまで)」竹内書店新社編集部編, 竹内書店新社, 2001. 9
- 052 「長期ナンバーワン商品の法則(『新市場創造型商品』の強さと開発の手法)」梅澤伸嘉著, ダイヤモンド社, 2001. 11
- 053 「コンセプト思考のノウハウ・ドゥハウ」野口吉昭編, HRインスティテュート著, PHP研究所, 2002. 8
- 054 岩波アクティブ新書56「商品企画のシナリオ発想術(モノ・コトづくりをデザインする)」田中央著, 岩波書店, 2003. 1※電子版あり
- 055 「新規商品企画の成功学」小寺次夫著, 生産性出版, 2003. 4
- 056 建設業ポケット実務シリーズ「事業開発マーケティング企画提案営業のすすめ」蒲康裕著, 日本コンサルタントグループ, 2003. 6
- 057 「ロングセラー・デザイン:文房具から椅子まで」コロナ・ブックス編集部編, 平凡社, 2003. 7
- 058 「売れる色・売れるデザイン」高坂美紀著, ピー・エヌ・エヌ新社, 2003. 9
- 059 「パッケージで売れる(売れるパッケージ商品を創るための知識・常識)」伊吹卓著, 日報出版(クリエイティブ日報), 2003. 10
- 060 「新商品構想力(『売れる、強い商品』づくり成功のカギ)」浦川卓也著, ダイヤモンド社, 2003. 10※電子版あり
- 061 「ヒット商品開発(MIPパワーの秘密)」梅澤伸嘉著, 同文館出版, 2004. 9 [MIP: Market Initiating Product=新市場創造型商品] (参考) 第2版2009. 12あり
- 062 「マネジメント時代の建築企画」日本建築学会編, 技報堂出版, 2004. 11
- 063 「あのヒット商品のナマ企画書が見たい!」戸田覚著, ダイヤモンド社, 2005. 1 (参考) 新付2013. 2あり
- 064 「代替品の戦略(攻撃と防衛の定石)」根来龍之著, 東洋経済新報社, 2005. 12
- 065 「実践 建築事業の企画提案」秋山英樹著, 清文社, 2006. 8
- 066W 日経ものづくりの本「革新のための7つの手法(ものづくりの教科書)」日経ものづくり編, 日経BP社発行/日経BP出版センタ発売, 2006. 8 (注) 第4章 商品企画7つ道具, P123-164
- 067 「消費者心理のわかる本(マーケティングの成功原則55)」梅澤伸嘉著, 同文館出版, 2006. 9
- 068 「ドリルを売るには穴を売れ(誰でも『売れる人』になるマーケティング入門)」佐藤義典著, 青春出版社, 2007. 1
- 069 かんきビジネス道場「商品開発戦略シナリオ(ヒット商品を生み出す『8×8図解ノート』)」広野穰編著, 中谷吉孝著, かんき出版, 2007. 3
- 070 「ヒット商品が面白いほど開発できる本(開発の段取りから販売戦略まで基本ポイント35)」太田昌宏著, 中経出版, 2007. 7 [中経出版⇒KADOKAWA]
- 071 「図解!売れる色とデザインの法則(色・形・パターン・配置に潜むロングセラーの秘密)」高坂美紀著, 秀和システム, 2007. 9
- 072 「日経トレンドィ ヒット商品航海記(日本人の消費はこう変わった)」北村森・山下柚実共著, 日本経済新聞出版社, 2007. 11 (注) 第4章 日経トレンドィでたどるヒット商品20年史(1987-2006), P113-213
- 073 「売れる商品デザインの法則」木全賢著, 日本能率協会マネジメントセンタ, 2007. 12 (注) 第2部 第6章 商品企画の法則, P157-173

- 074 「図解よくわかるこれからの市場調査」指方一朗著，同文館出版，2008. 2
- 075 「ヒットの秘密は『運鈍根』（なぜ、あなたの会社にはこれが作れなかったのか？）」夏目幸明著，平凡社，2008. 4
- 076 「ロングセラーの発想力（売れる！アイデアが身につく）」齋藤孝著，ダイヤモンド社，2008. 5
※電子版あり
- 077 「ヒット商品打率（数打つから当たらない）」梅澤伸嘉著，同文館出版，2008. 8
- 078 「カスタマイズの法則（ロングセラーを生み出す）」富澤豊著，日本実業出版社，2008. 9
- 079 「建築・まちづくりの夢をカタチにする力（建築企画事例から考える環境のデザイン）」日本建築学会編，彰国社，2008. 9
- 080 「速解！『売れる商品を創る』開発マーケティング50のステップ」石川憲昭著，日刊工業新聞社，2008. 11
- 081 「商品企画のための統計分析（Rによるヒット商品開発手法）」神田範明監修，石川朋雄ほか共著，オーム社，2009. 3 [R＝オープンソースの汎用性統計ソフト]
- 082 「ヒット商品を生み出すネタ出し練習帳」松本英博著，翔泳社，2009. 6
- 083 祥伝社新書 167 「理系の企画力！（ヒット商品は『現場感覚』から）」宮永博史著，祥伝社，2009. 8 ※電子版あり
- 084 「技術提案の勝ち方（統合評価方式で高得点を取る必勝ノウハウ）」日経コンストラクション編，日経BP社発行／日経BP出版センタ発売，2009. 9
- 085 「ヒット商品開発（MIPパワーの秘密）[第2版]」梅澤伸嘉著，同文館出版，2009. 12
- 086 ソフトバンク新書 120 「売れるデザインの発想法」木全賢著，ソフトバンククリエイティブ，2009. 12
- 087 「マンガで読む『ロングセラー商品』誕生物語＜完全保存版＞」藤井龍二著，PHP研究所，2010. 3（参考）日本企業激闘編2014. 3あり
- 088 「消費者心理のしくみ（ヒット商品を生む!）」梅澤伸嘉著，同文館出版，2010. 5
- 089 「ロングセラー商品の舞台裏（ヒットを続けるには理由がある）」成美堂出版編集部編，成美堂出版，2010. 7
- 090 「『顧客ニーズに応える』とは何か（日用品分野における製品開発と流通）」岸本秀一著，文理閣，2010. 11
- 091 「日経ヒット商品番付1971-2010」日経MJ（流通新聞）編，日本経済新聞出版社，2010. 12

Ⅲ. 2011（平成23）年以降

- 092 「売れるデザインの鉄則30」日経デザインブランド向上委員会編，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2011. 6
- 093 「文具の流儀（ロングセラーとなりえた哲学）」土橋正著，東京書籍，2011. 8 ※電子版あり
- 094 「『差別化するストーリー』の描き方（コンセプトメーカー養成塾）」高橋宣行著，PHP研究所，2011. 12 ※電子版あり
- 095 「1からの商品企画」西川英彦・廣田章光共編著，碩学舎発行／中央経済社発売，2012. 2
- 096 「商品企画できない社員はいらない（商品力アップのための38の定石とタブー）」太田昌宏著，クロスメディア・パブリッシング発行／インプレスコミュニケーションズ発売，2012. 2 ※電子版あり
- 097 「1億人に買われるメガヒット商品のつくりかた」稲船敬二著，中経出版，2012. 3 ※電子版あり
- 098 「建築プロデュース学入門（おカネの仕組みとヒトを動かす企画）」広瀬郁著，彰国社，2012. 4
- 099 「『コト発想』からの価値づくり（技術者のマーケティング思考）」谷地弘安著，千倉書房，2012. 5
- 100 「コンセプトのつくりかた（「つくる」を考える方法）」玉樹真一郎著，ダイヤモンド社，2012. 8 ※電子版あり
- 101 「成功はすべてコンセプトから始まる（『思い』を『できる』に変える仕事術）」木谷哲夫著，ダイヤモンド社，2012. 9 ※電子版あり
- 102 「パッケージデザインの教科書」日経デザイン編，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2012. 12（参考）第2版2014. 12／第3版2017. 6あり

- 103 「消費者ニーズ・ハンドブック（ロングセラー商品を生み出す240の法則）」梅澤伸嘉著，同文館出版，2013. 1
- 104 「新・あのヒット商品のナマ企画書が見たい」戸田覚著，ダイヤモンド社，2013. 2 ※電子版あり
- 105 「『行動観察』の基本」松波晴人著，ダイヤモンド社，2013. 2 ※電子版あり
- 106 TACビジネススキルBOOK「あのヒット商品はなぜ売れるのか？（気軽に読むマーケティングのツボ）」金森努監修，TAC出版事業部，2013. 4
- 107 「神田教授の商品企画ゼミナール（NeoPヒット商品を生み出すシステム）」神田範明著，日科技連出版社，2013. 8
- 108 「ロングセラー商品のデザインはここが違う！（あの商品は、なぜ売れ続けるのか？）」日経デザイン編，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2013. 11
- 109 NIKKEI BUSINESS 経営教室「ロングセラーが会社をダメにする（ヒット商品は消費者に聞け）」大山健太郎著，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2013. 12
- 110 「ザ・ヒント（ヒット商品の誕生秘話大百科）」TOブックス編集部編，TOブックス，2014. 2
- 111 「マンガで読む『ロングセラー商品』誕生物語＜日本企業激闘編＞」藤井龍二著，PHP研究所，2014. 3 ※電子版あり
- 112 「コレが欲しかった！と言われる『商品企画』のきほん（コンセプト、企画書の書き方、販促プラン、顧客育成）」末吉孝生著，翔泳社，2014. 3 ※電子版あり
- 113 「地域発ヒット商品のデザイン（消費者の心をつかむみやげもの・特産品特集!）」バイインターナショナル，2014. 3
- 114 「一瞬で心をつかむパッケージデザインの見本帳（商品価値を高めるアイデアと技法）」フレア編，エムディーエヌ・コーポレーション発売／インプレスコミュニケーションズ発売，2014. 4
- 115 「ヒットの正体（『そうそう、それが欲しかった』1億人を動かす潜在ニーズの見つけ方）」山本康博著，日本実業出版社，2014. 5 ※電子版あり
- 116 「儲かるデザイン戦略（商品が変わる！企業が変わる!）」日経デザイン編，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2014. 5 ※電子版あり
- 117 「美崎栄一郎のヒットの謎解き（元花王の開発者が解き明かすヒットの飛ばし方）」美崎栄一郎著，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2014. 9 ※電子版あり
- 118 「日本発！世界のヒット商品」毎日新聞社経済部編，毎日新聞出版，2014. 10
- 119 「ロングセラーを呼ぶマーケティング（通販の天才がついに明かす売り続ける商品づくりと宣伝・セールス戦略）」ハリリー・A.セル著，幻冬舎メディアコンサルティング発行／幻冬舎発売，2014. 10 ※電子版あり
- 120 「『なぜか売れる』の公式」理央周著，日本経済新聞出版社，2014. 10（参考）文庫本版2017. 8あり
- 121 「パッケージデザインの教科書 [第2版]」日経デザイン編，日経BP社発行／日経BPマーケティング発売，2014. 12 ※電子版あり（参考）第3版2017. 6あり
- 122W 「問題解決ラボ（『あったらいいな』をかたちにする『ひらめき』の技術）」佐藤オオキ著，ダイヤモンド社，2015. 2 ※電子版あり [デザイン（意匠設計）目線で考える]
- 123 「マーケット感覚を身につけよう（『これから何が売れるのか?』がわかる人になる5つの方法）」ちきりん著，ダイヤモンド社，2015. 2 ※電子版あり
- 124 「ヒット文具を生み続ける独創のセオリー」宮本彰著，河出書房新社，2015. 6 ※電子版あり [KING JIM: キングジム]
- 125 「『あっ、欲しい!』のつくり方（1%に売れば99%儲かる）」幸本陽平著，日本経済新聞出版社，2015. 7 ※電子版あり
- 126 「ヒット商品誕生の秘密」古田鶴彦著，PHP研究所，2015. 8
- 127 「一流ビジネスマンは誰でも知っている ヒットの原理（売れるプラン作成の基本）」高杉康成著，日経BP社発行／日経BPマーケティング発行，2015. 9 ※電子版あり
- 128 「折りたたみ家具グッドデザインのつくり方（ヒット商品はどうやって生まれるのか？発想から商品化までを公開）」泉里志著，誠文堂新光社，2015. 9
- 129 「トヨタ式A3プロセスで開発（A3用紙1枚で手戻りなくヒット商品を生み出す）」稲垣公夫・成沢俊子共著，日刊工業新聞社，2015. 9

- 130 「ビジネスプラン・シナリオ作成術（事業企画・商品企画が成功する 10 ステップ）」HR インスティテュート著，野口吉昭編，かんき出版，2015. 11 ※電子版あり
- 131 「30年売れて儲かるロングセラーを意図してつくる仕組み」梅澤伸嘉著，日本経営合理化協会出版局，2016. 1
- 132 「実践 建築の企画営業 [全訂版]」秋山英樹著，清文社，2016. 1
- 133 「コンセプトのつくり方（たとえば商品開発にも役立つ電通の発想法）」山田壮夫著，朝日新聞出版，2016. 3 ※電子版あり [広告代理店・電通]
- 134 「ロングセラーパッケージ大全」日経デザイン編，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2016. 6 ※電子版あり
- 135 「戦わずロングセラーにする『強い売りモノ [MIP]』の創り方」梅澤伸嘉著，同文館出版，2016. 9 [MIP: Market Initiating Product=新市場創造型商品]
- 136 「ヒット商品を生み出す最良最短の方法（商品開発者 1000 人の実践から引き出した 24 の秘訣）」濱島太著，こう書房，2016. 12 ※電子版あり
- 137 「ファジー・フロントエンド活動における技術革新創成（100 社の事例を実証データ検証）」櫻井敬三著，文眞堂，2017. 1 [ファジー・フロントエンド: Fuzzy Front-end=曖昧な始まりの意味⇒製品開発前活動（イノベーション論では、アイデア創出からコンセプト構想までの試行錯誤的な段階を呼ぶ）]
- 138 日経BPムック「ビジネスのアイデアがどんどん出る本（毎日の仕事に悩むビジネスパーソン・商品企画・マーケッター必読）」日経デザイン編，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2017. 4 ※電子版あり
- 139 「どうすれば、売れるのか？（世界一かんたんな『売れるコンセプト』の見つけ方）」小暮太一著，ダイヤモンド社，2017. 4 ※電子版あり
- 140 「技術者のためのマーケティング（顧客価値の構想と戦略）」谷地弘安著，千倉書房，2017. 4
- 141 「『五感を使った』売れる商品づくりのアイデア発想法」松本和彦著，セルバ出版発行/創英社・三省堂書店発売，2017. 5
- 142 「デザインの次に来るもの（これからの商品は『意味』を考える）」安西洋之・八重樫文共著，クロスメディア・パブリッシング発行/インプレス発売，2017. 5 ※電子版あり
- 143 「パッケージデザインの教科書 [第3版]」日経デザイン編，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2017. 6 ※電子版あり
- 144 「ヒット商品は『足し算と引き算の法則』でできる！」起業家大学著，主藤孝司監修，宝島社，2017. 8
- 145 「儲かる 100 億円ヒット商品をつくる！（カテゴリーキラー戦略）」村松勝・吉田隆太共著，セルバ出版発行/創英社・三省堂書店発売，2017. 8
- 146 日経ビジネス人文庫 1-1 「『なぜか売れる』の公式」理央周著，日本経済新聞出版社，2017. 8
- 147 「『ヒット商品』を生み出す秘訣（日本一売れたフライおつまみから学ぶ）」田中稔朗著，幻冬舎メディアコンサルティング発行/幻冬舎発売，2017. 12
- 148 「新ヒットの方程式（ソーシャルメディア時代は『モノ』を売るな『共感』を売れ!）」物延秀著，宝島社，2017. 12
- 149 日経トレンド別冊「30年（1987-2016年）最強ヒット商品ランキング」日経トレンド編，日経BP社発行/日経BPマーケティング発売，2017. 12 ※電子版あり
- 150 PHP 新書 1126 「大量生産品のデザイン（経済と文化を分けない思考）」佐藤卓著，PHP 研究所，2018. 1
- 151 「商品プロデュースの発想法（売れなかったモノが一瞬でヒット商品に!）」川瀬和幸著，啓文社書房発行/啓文社発売，2018. 4